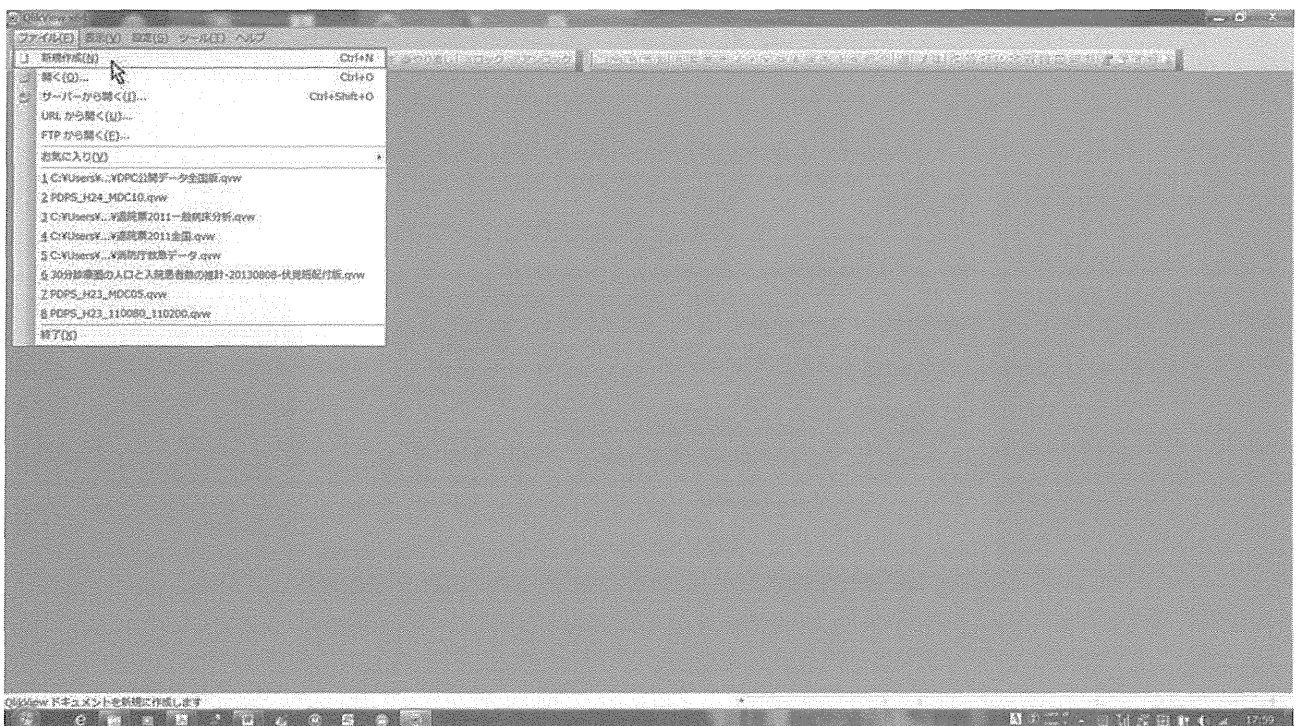
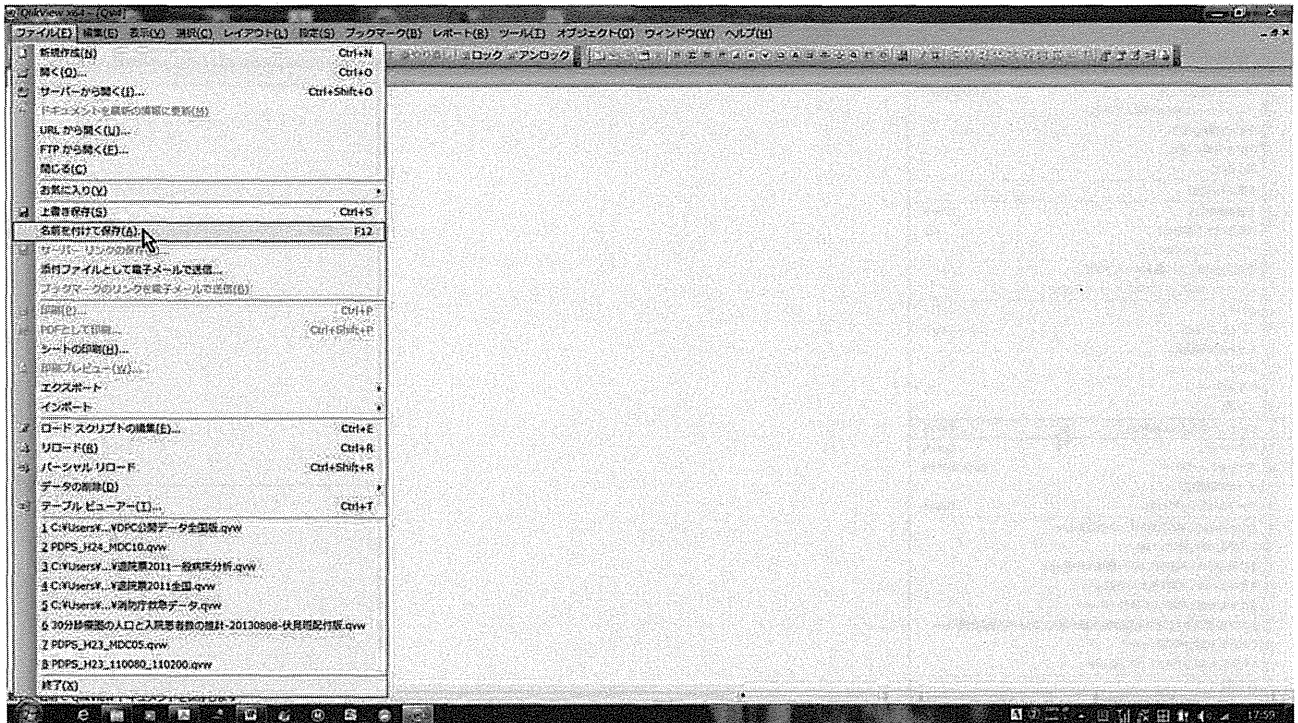


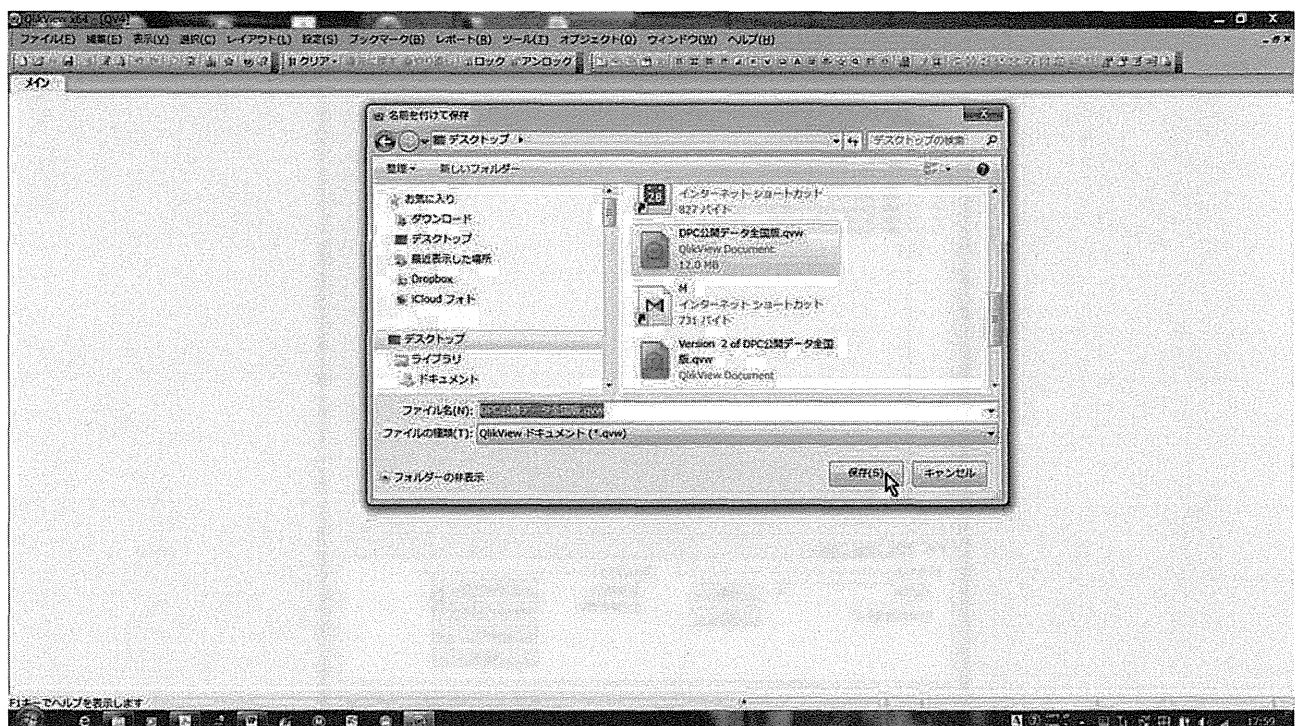
- OKをクリックして閉じる。



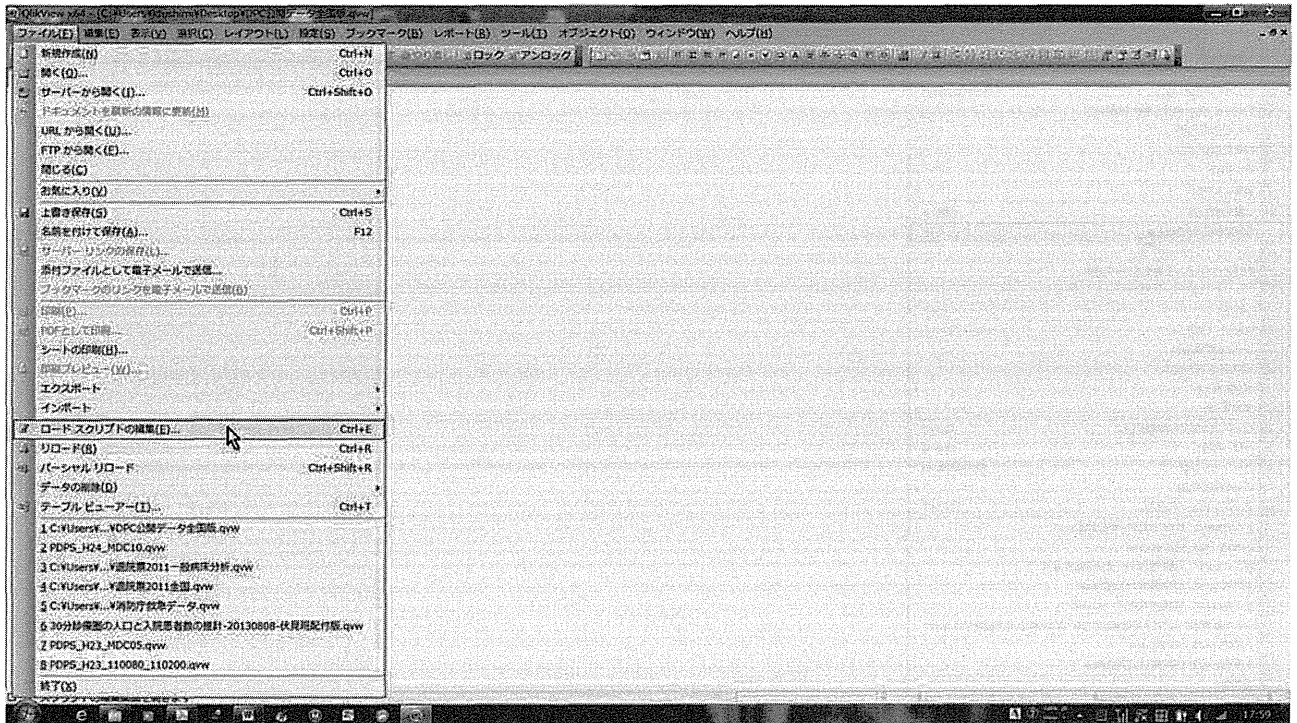
- ファイルメニューより新規作成をクリック



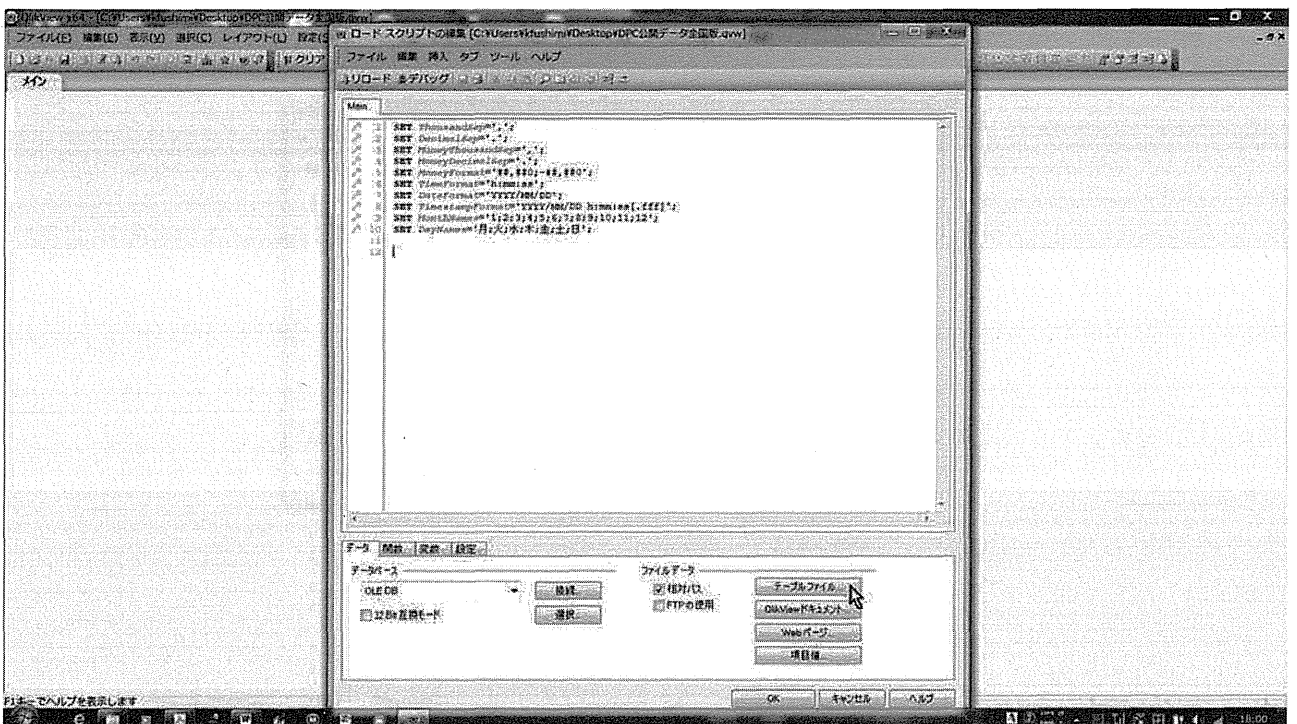
- 最初に名前を付けて保存しておく。



- 自分のわかりやすい名前を付けて保存しておく

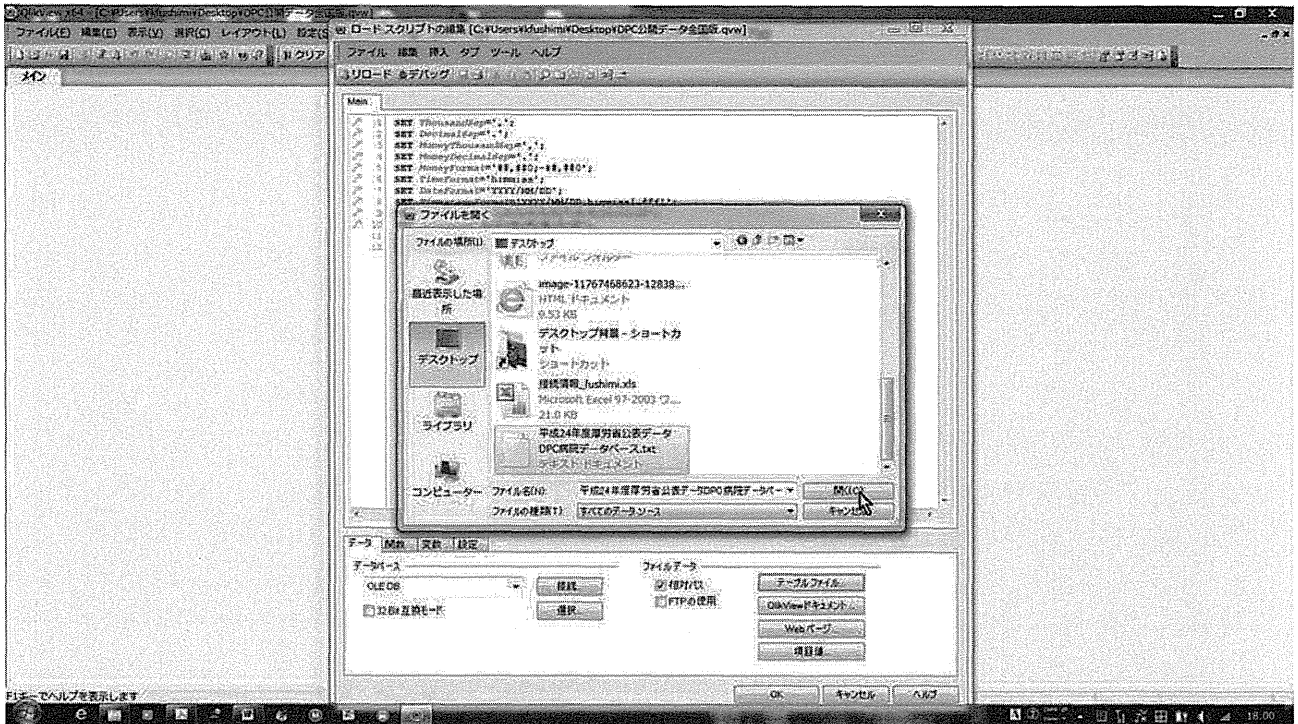


- ファイルメニューからロードスクリプトの編集を開く。

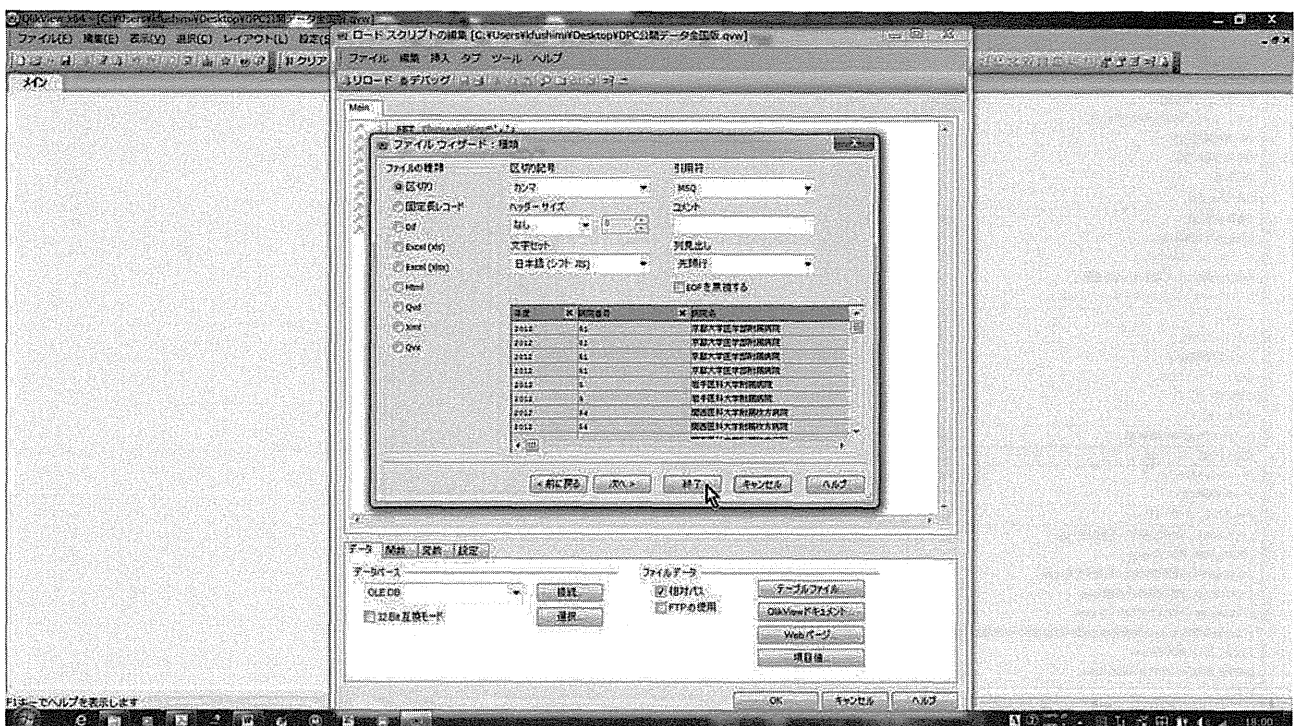


- テーブルファイルをクリックする。

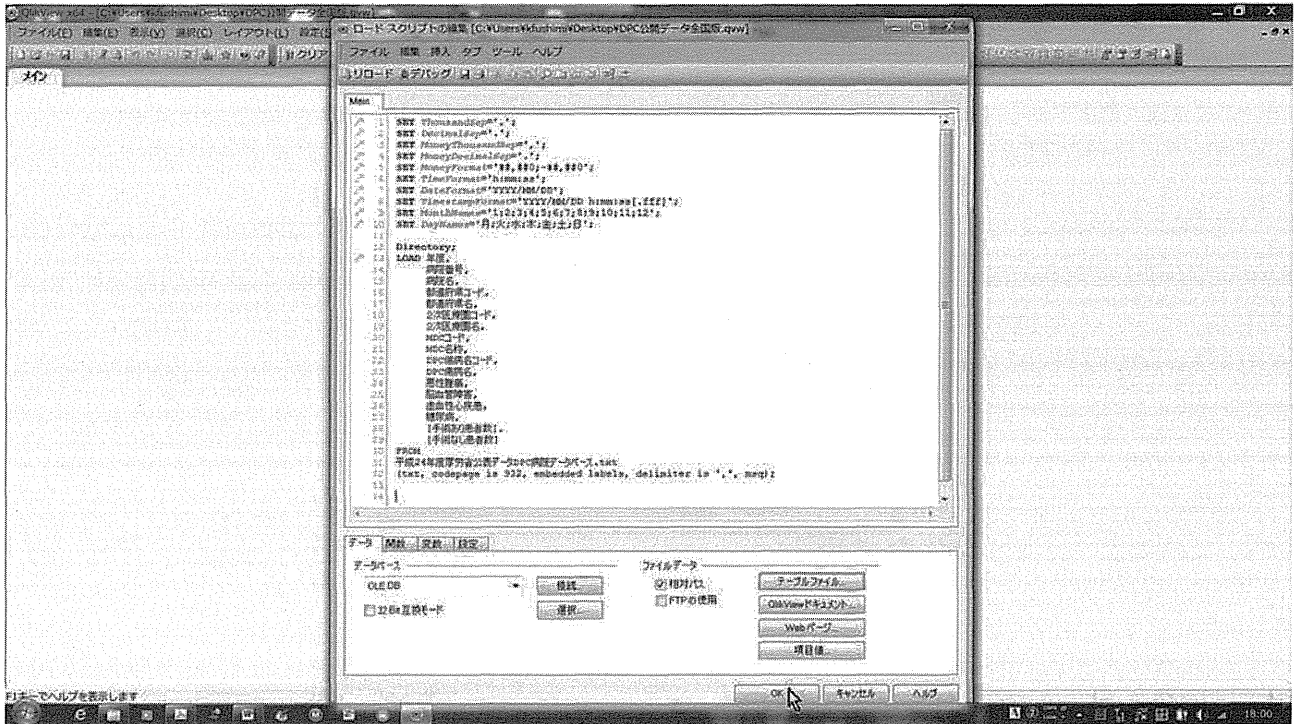




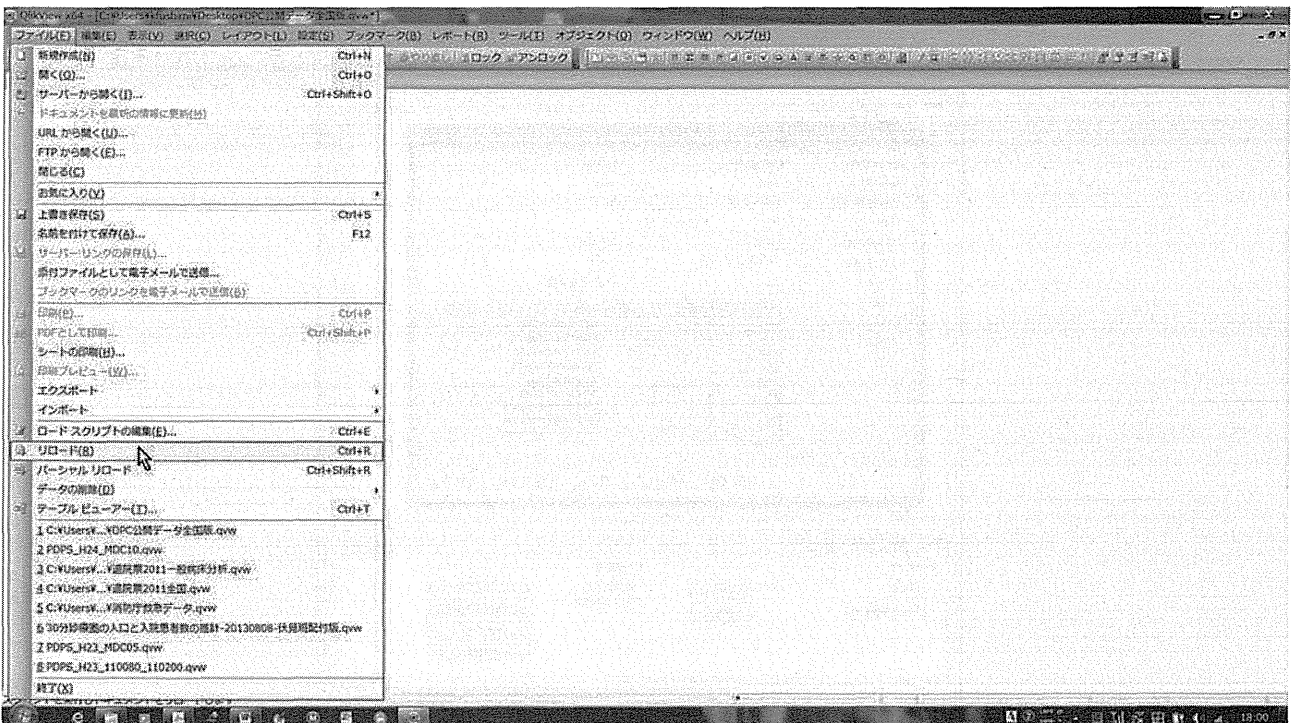
- ZIPファイルを解凍したDPC病院データベースのテキストファイルを開く。



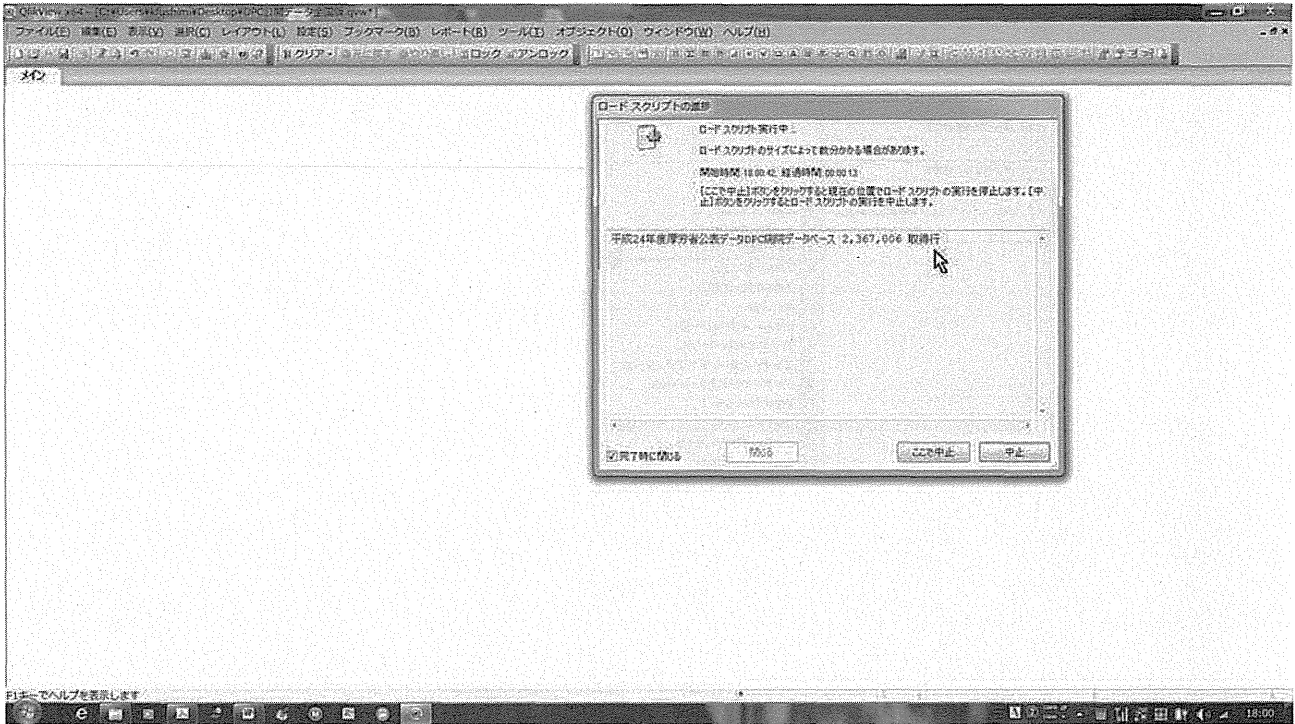
- そのまま終了をクリックする。



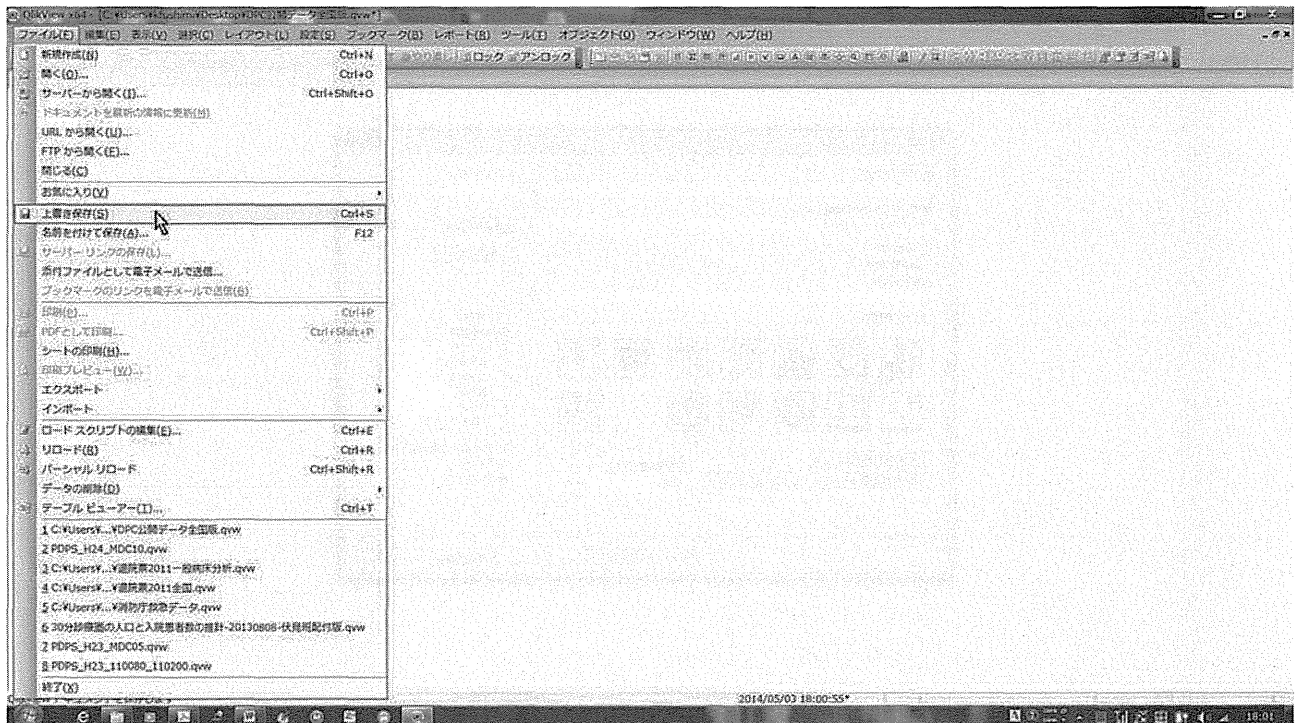
- OKをクリックする。



- ファイルメニューからリロードをクリックする。

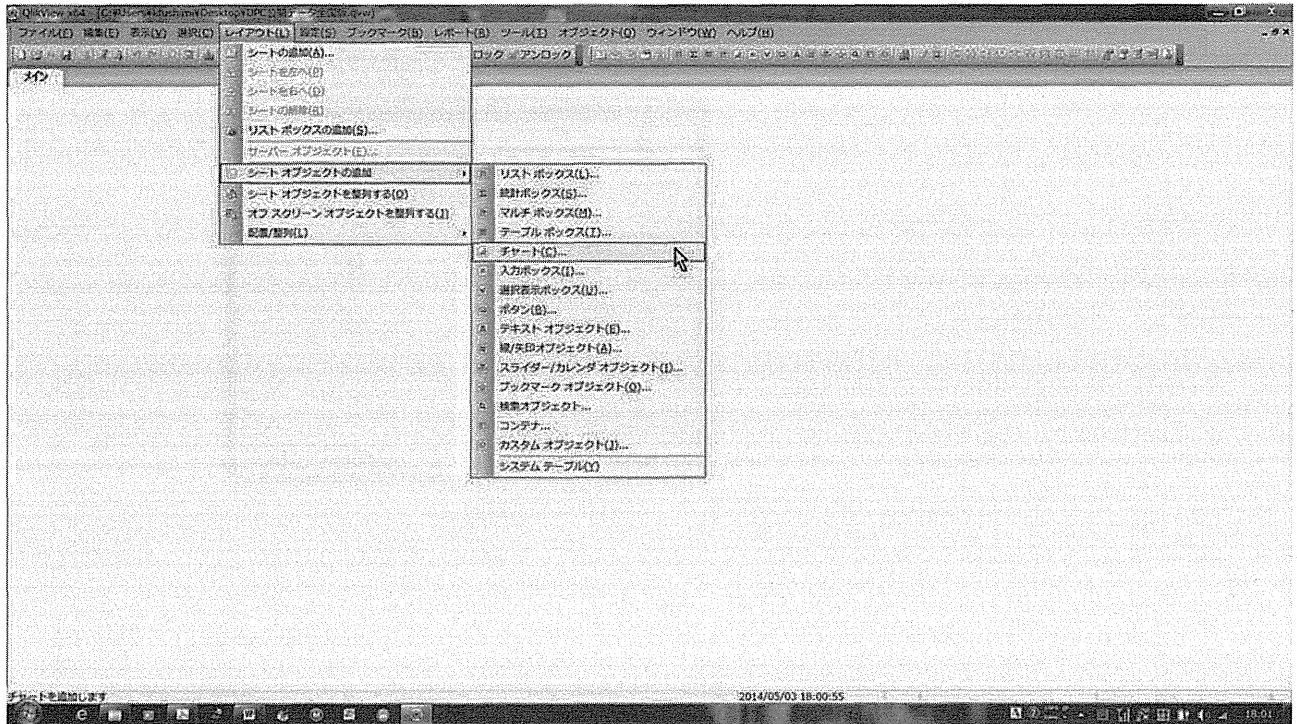


- ファイルの読み込みが始まる。1分から10分ぐらいかかる。

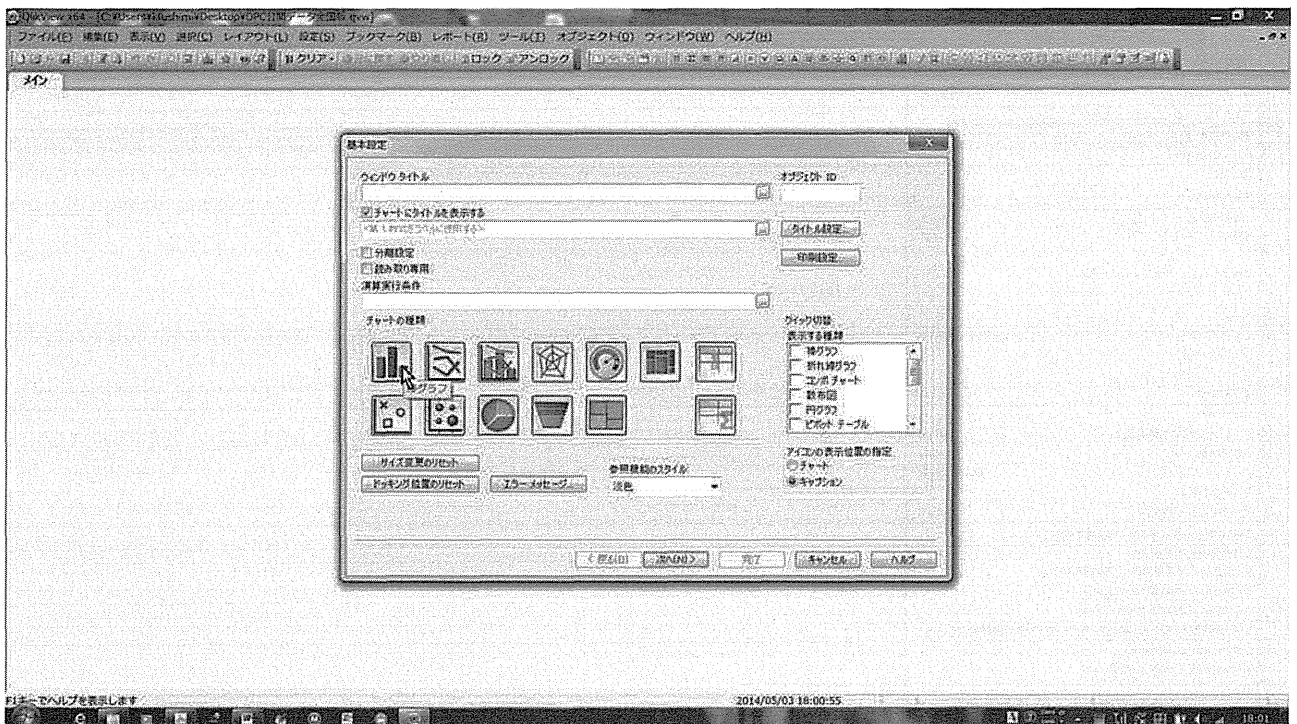


- ここでファイルを保存しておく方が良い。分析の途中でも適宜、ファイルを保存しておくで安心。

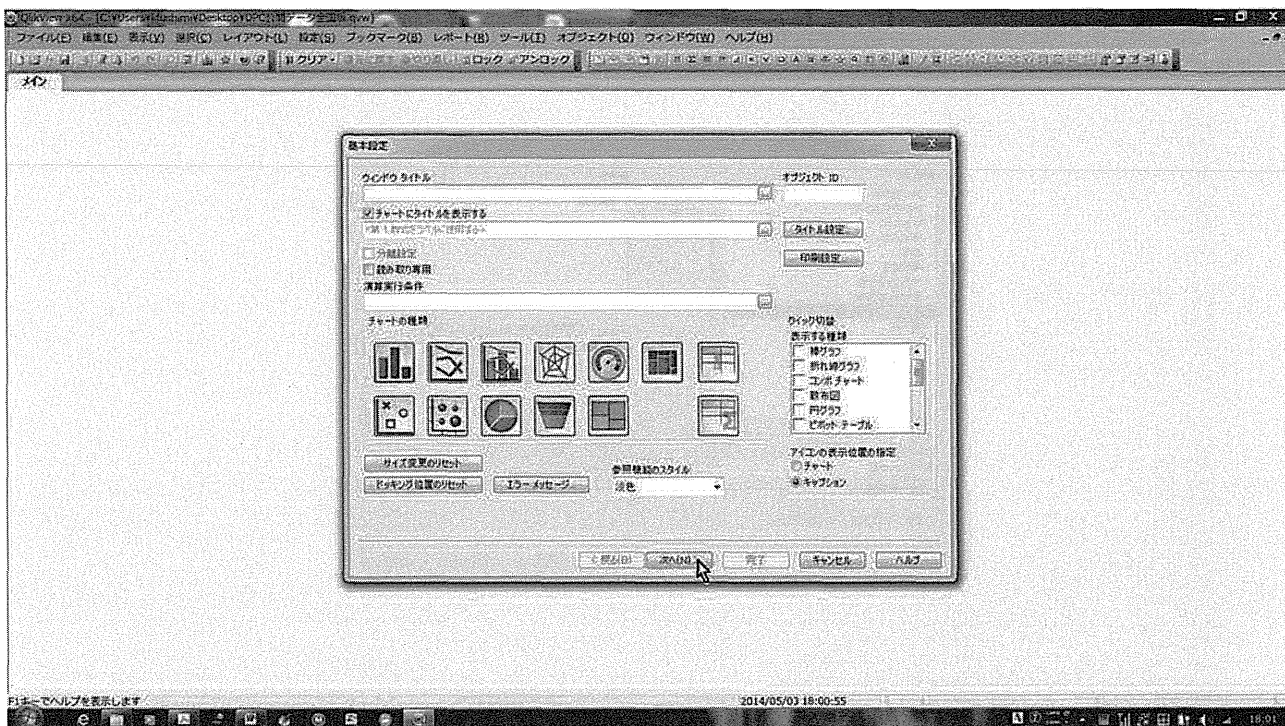




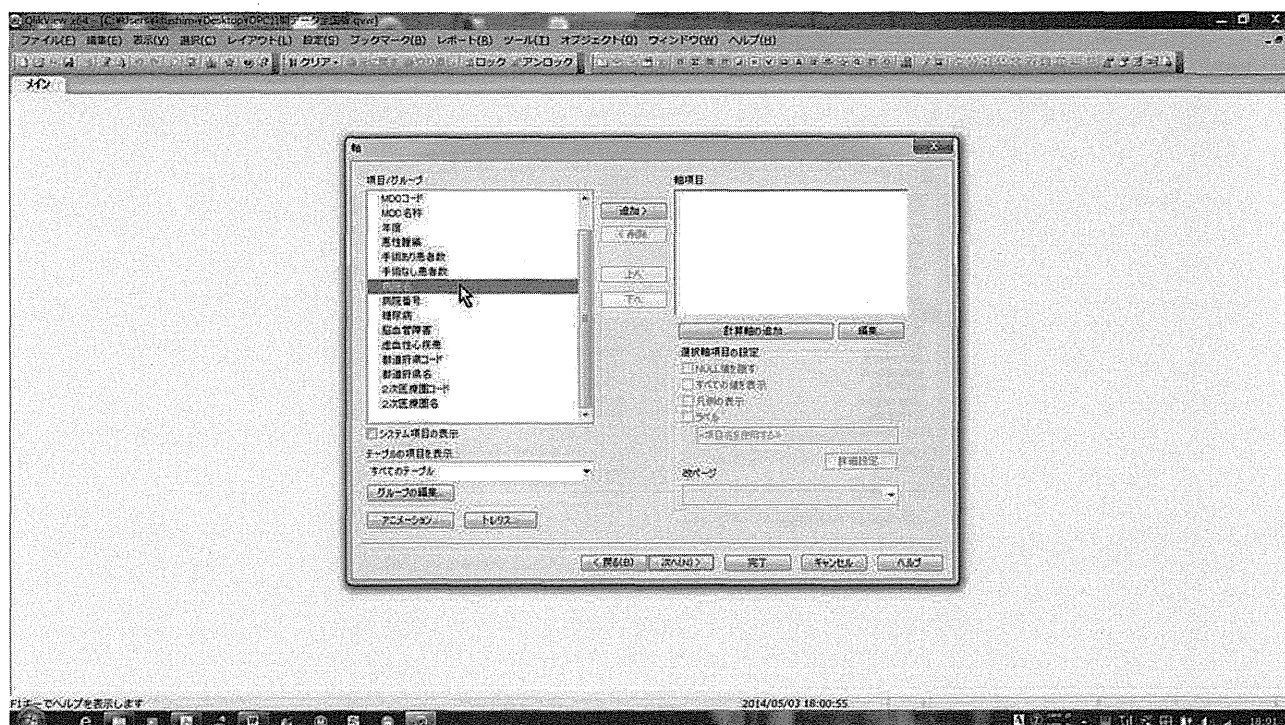
- レイアウトメニューからシートオブジェクト、チャートを選択。



- 左上の棒グラフを選択する。

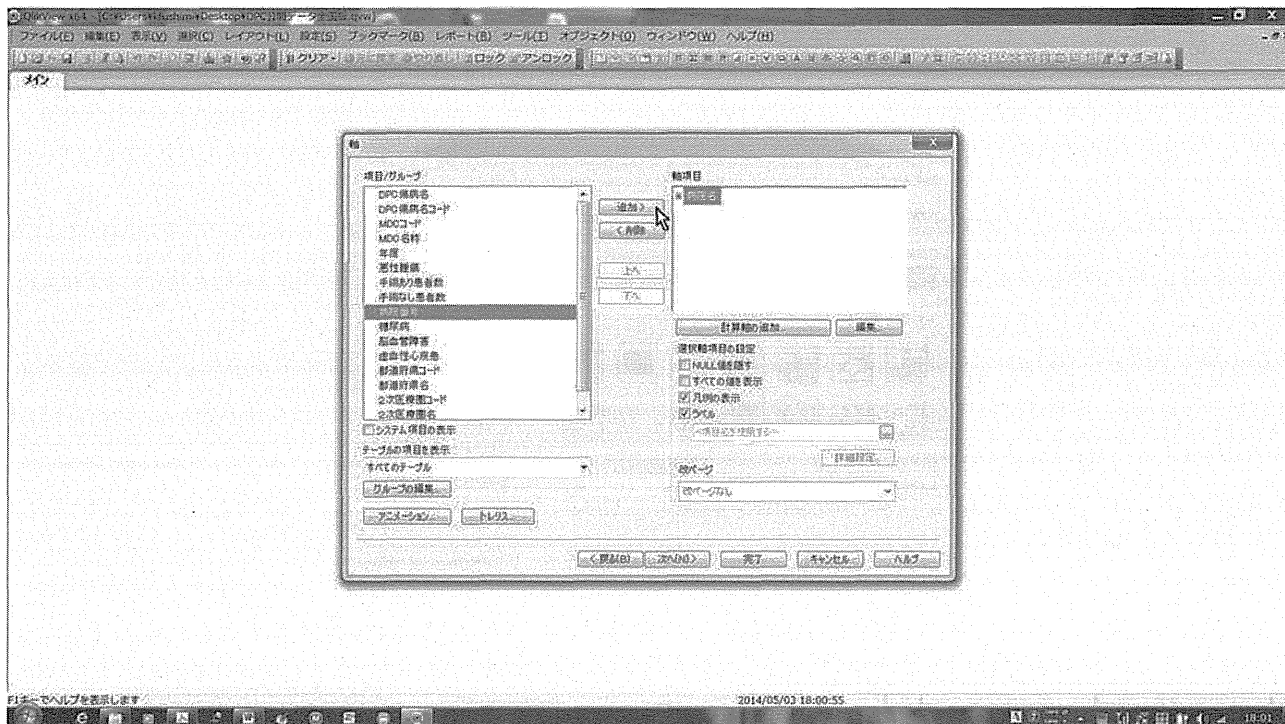


- 次へをクリック。



- 病院名をクリックする。

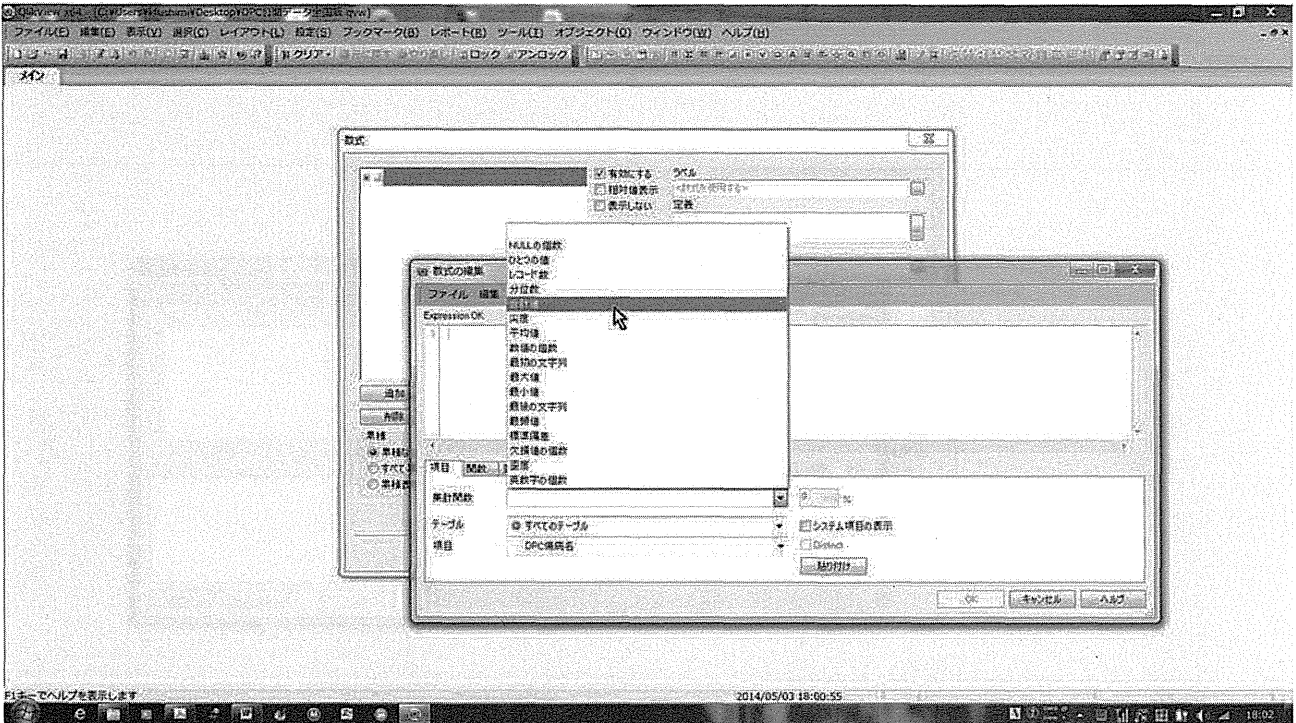




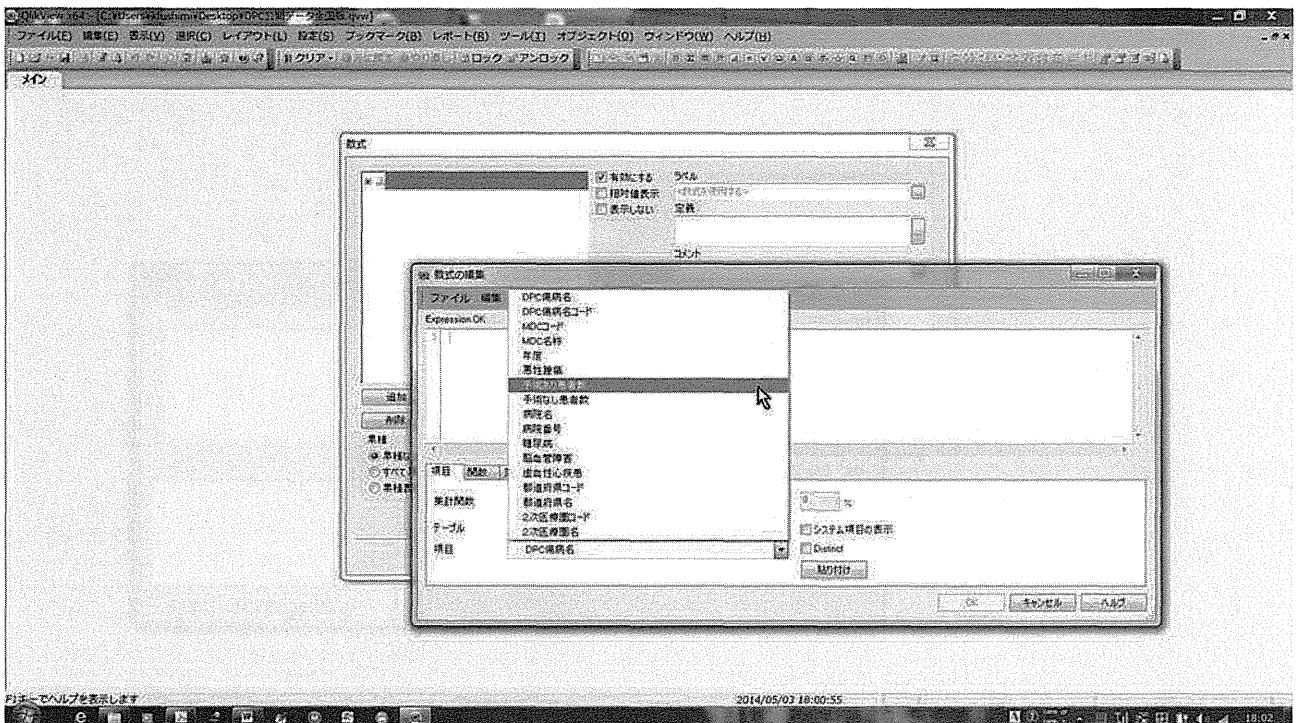
- 追加をクリックする。



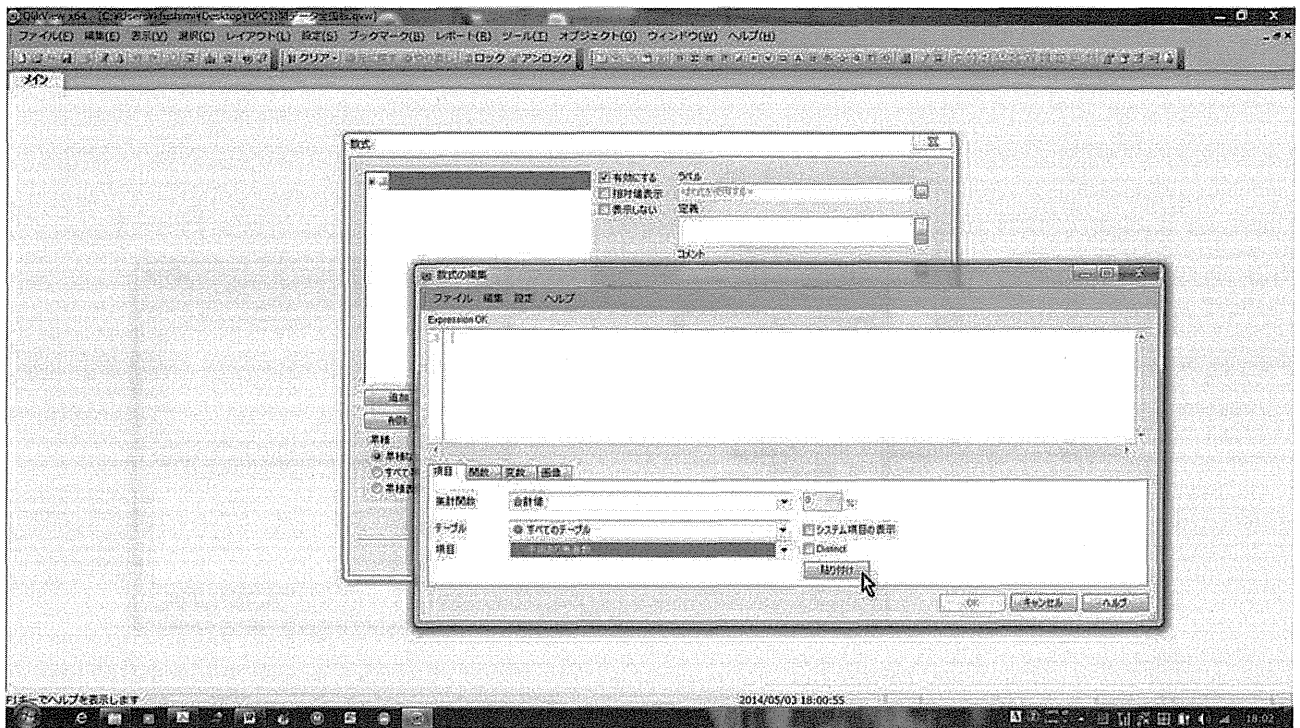
- 次へをクリックする。



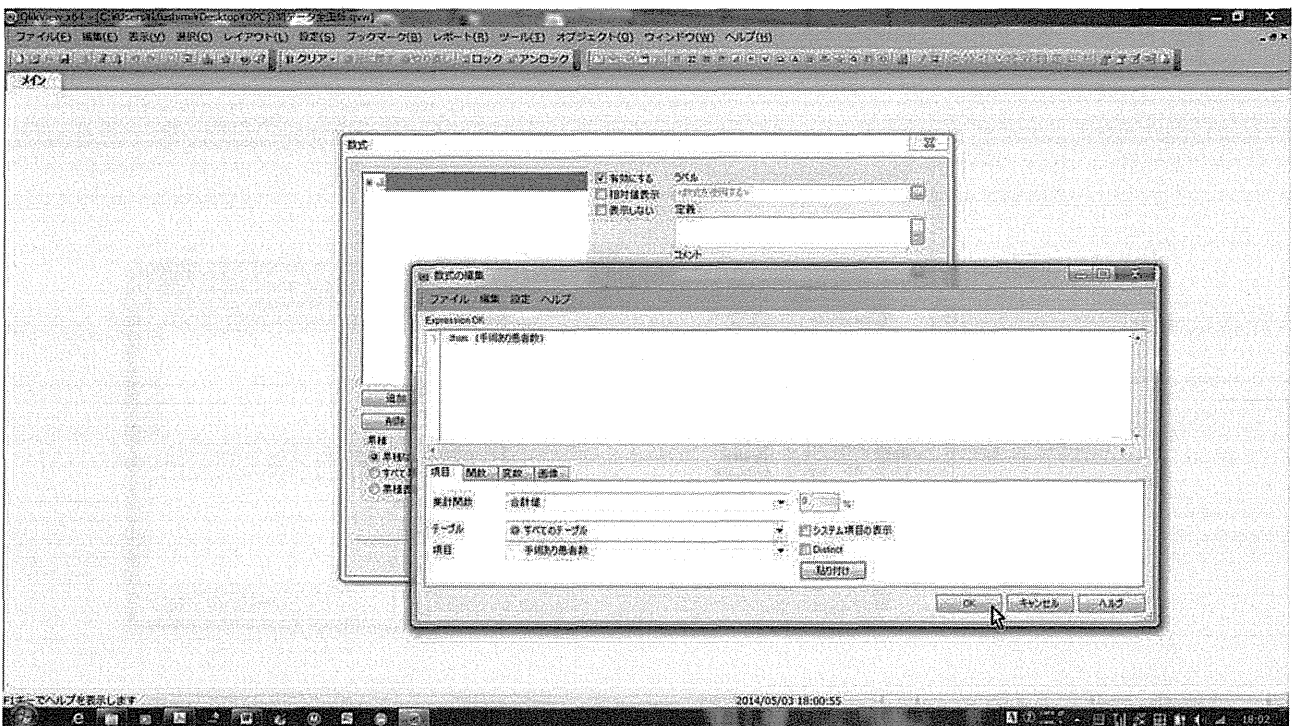
- 数式のページになるので、集計関数の欄で合計値を選択する。



- 項目の欄で、手術あり患者数を選択する。

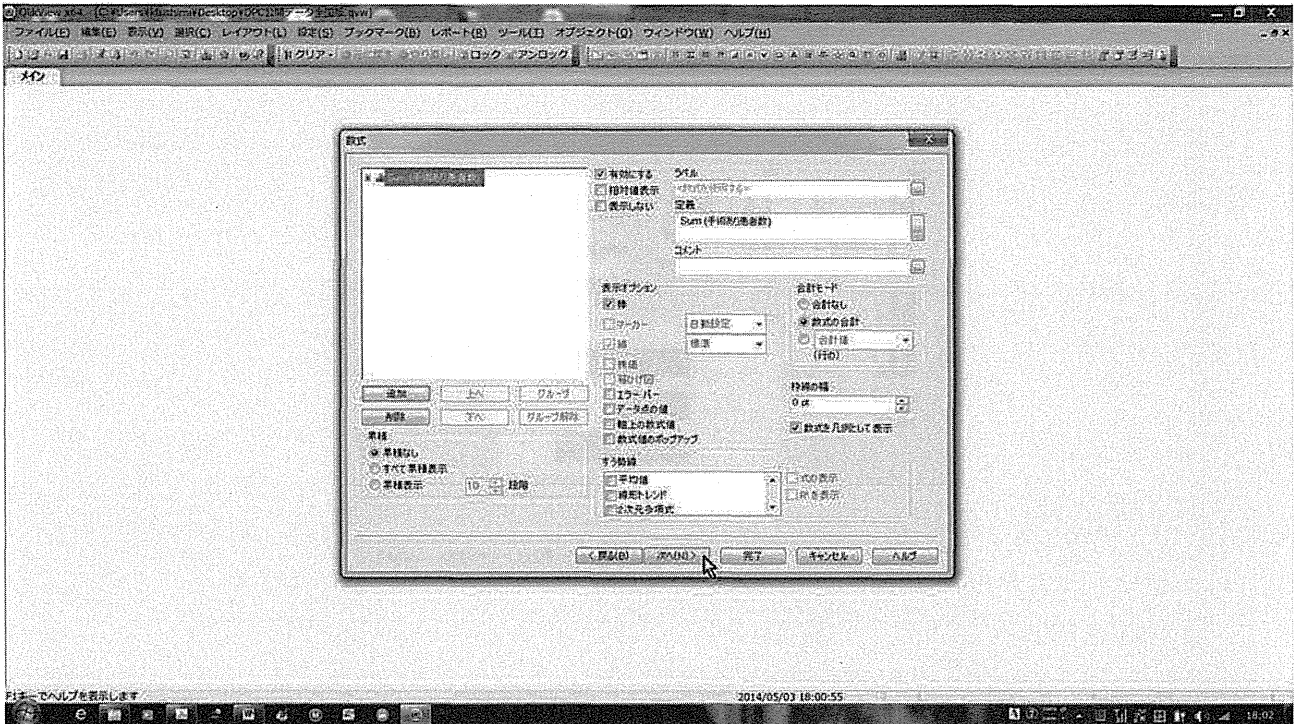


- 貼り付けをクリックする。

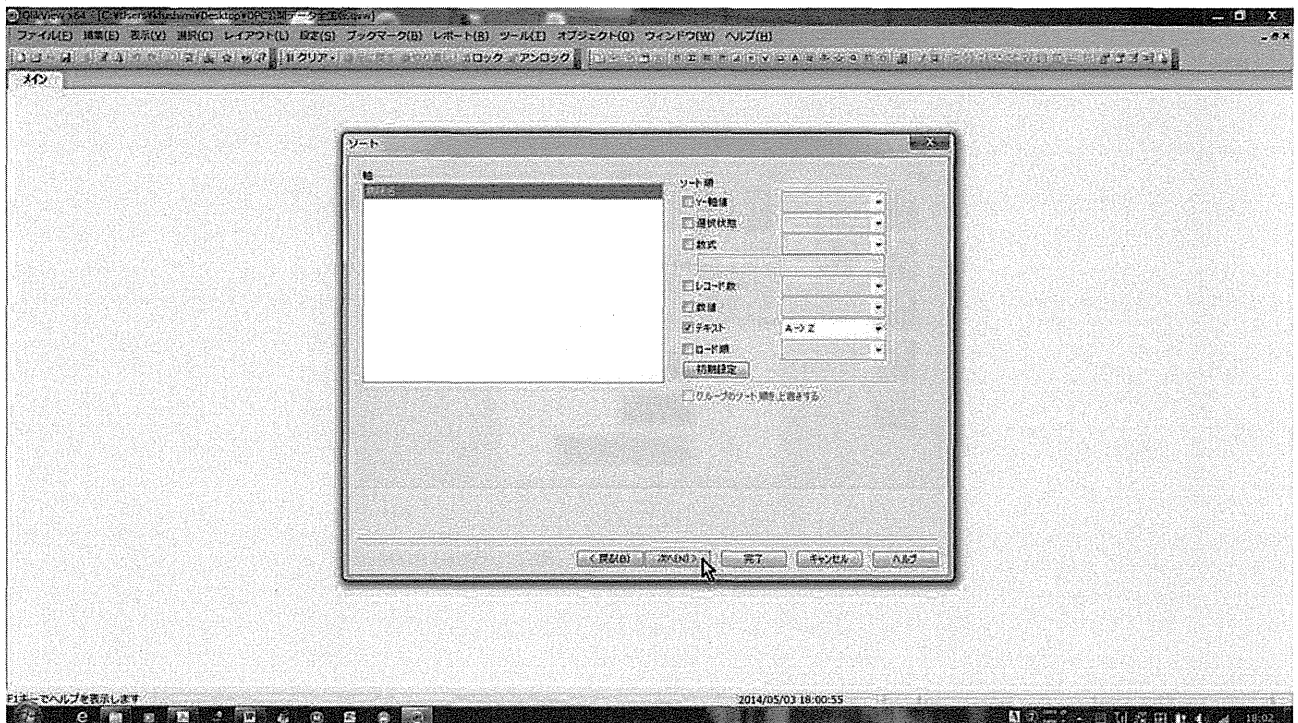


- OKをクリックする。

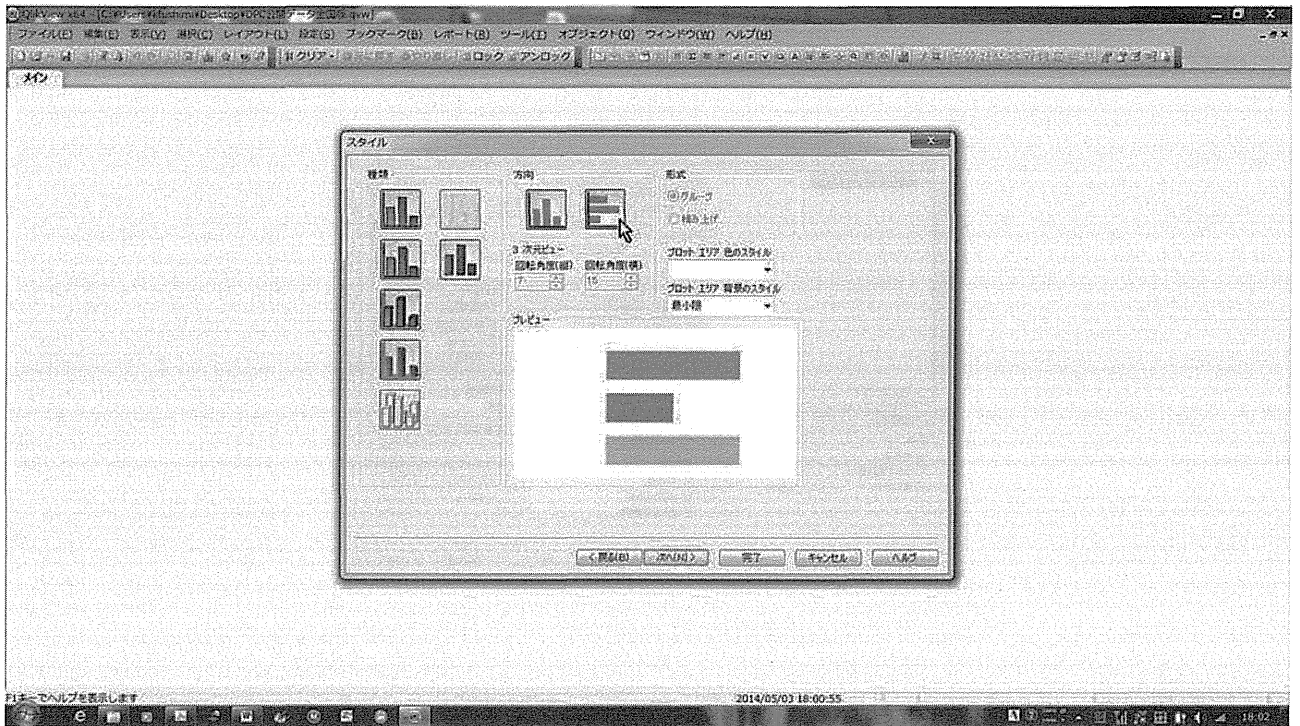




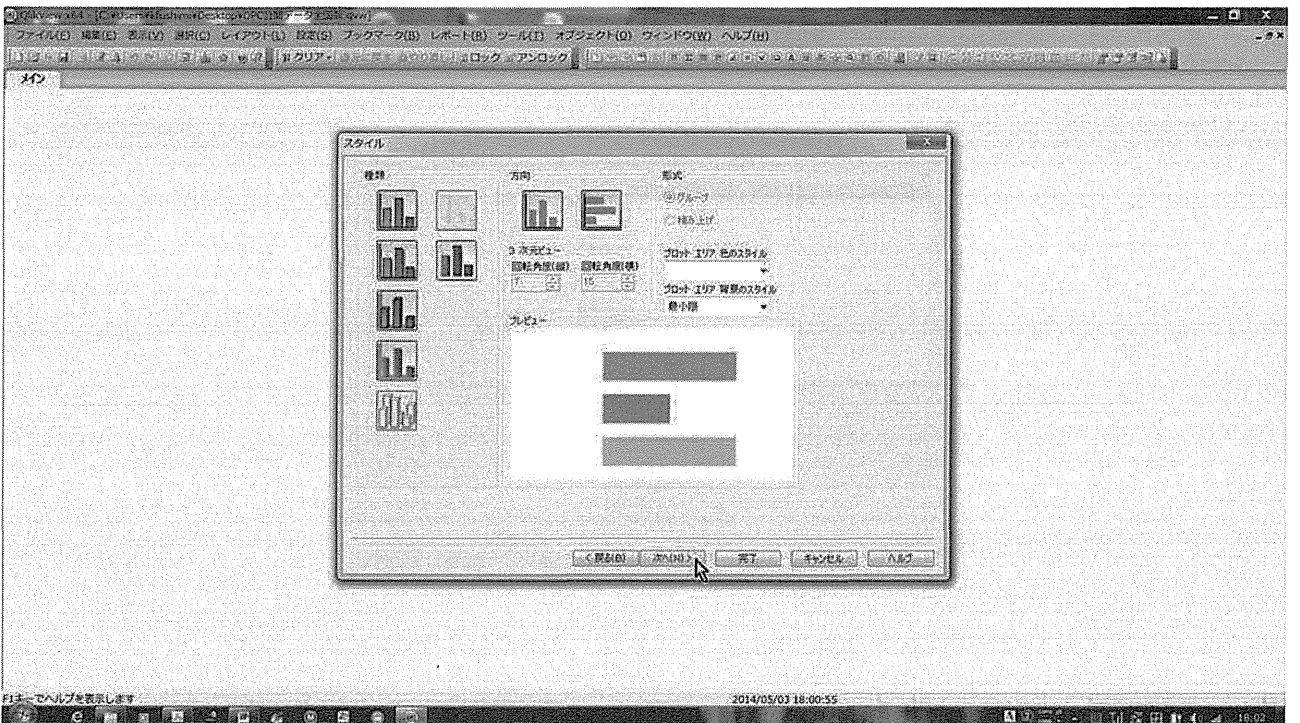
- 次へをクリックする。



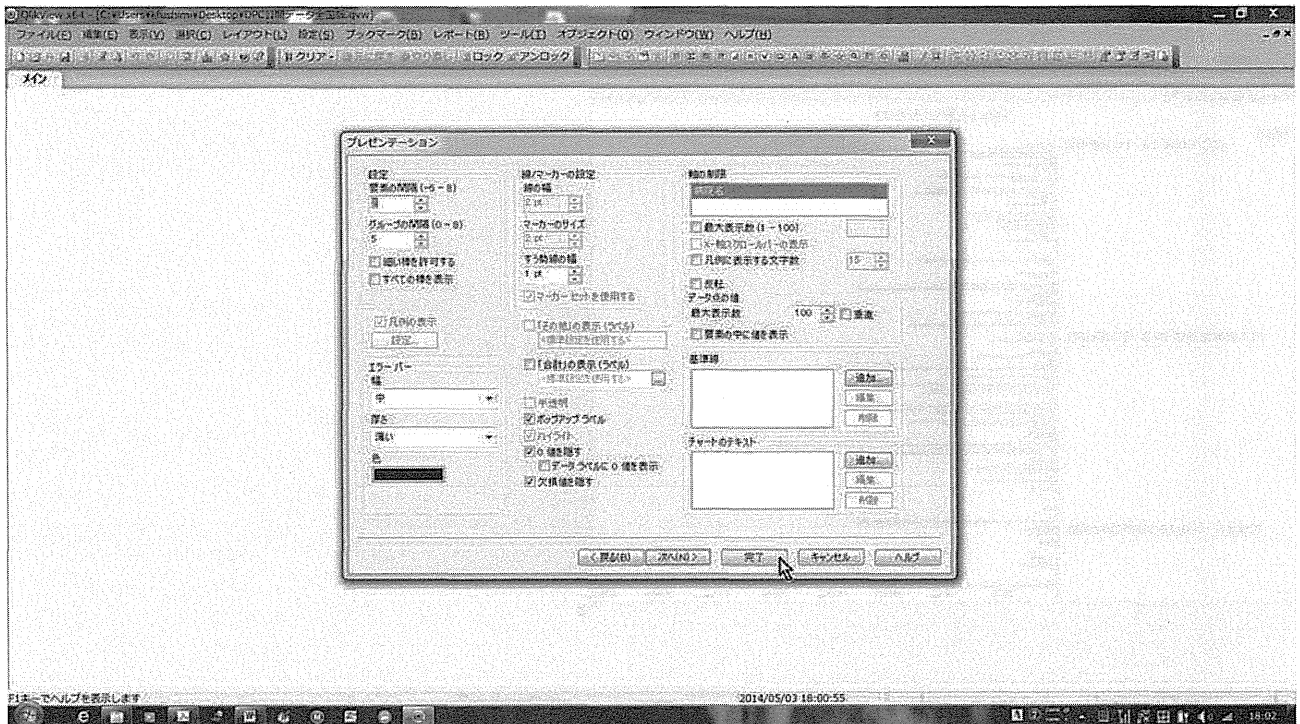
- 次へをクリックする。



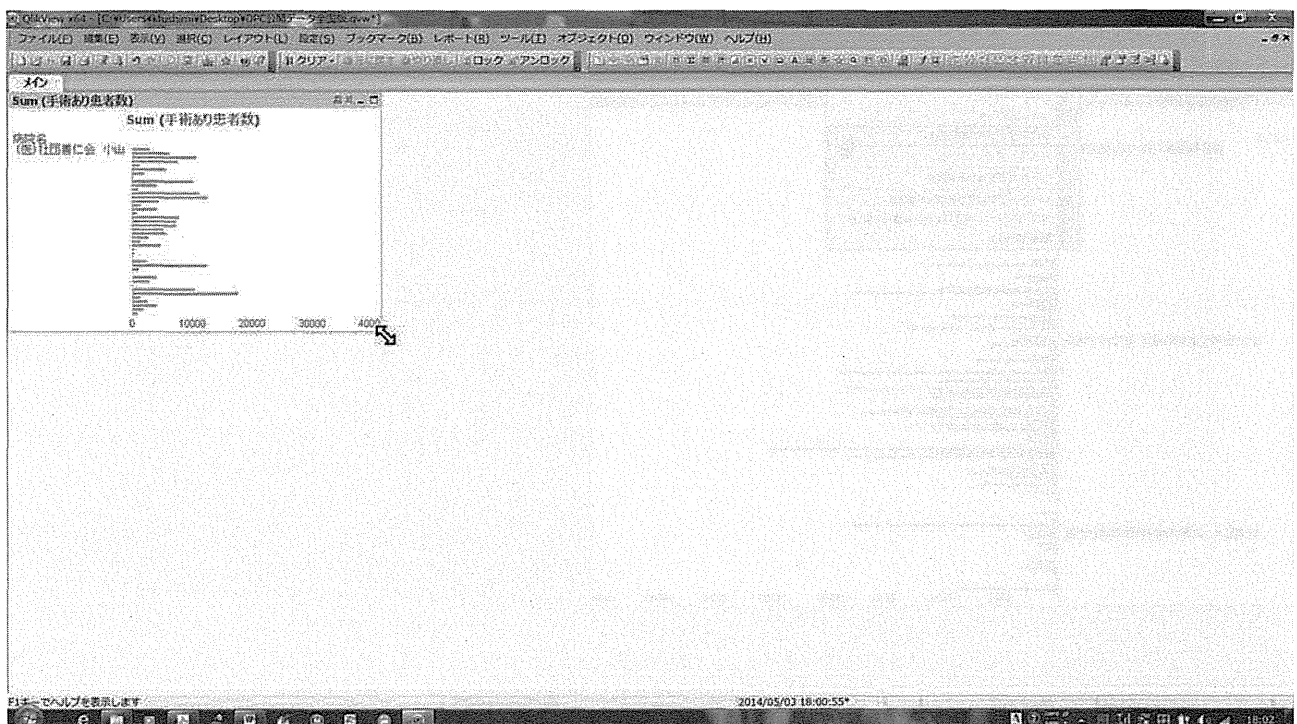
- 横棒チャートの絵をクリックして選択する。



- 次へをクリックする。

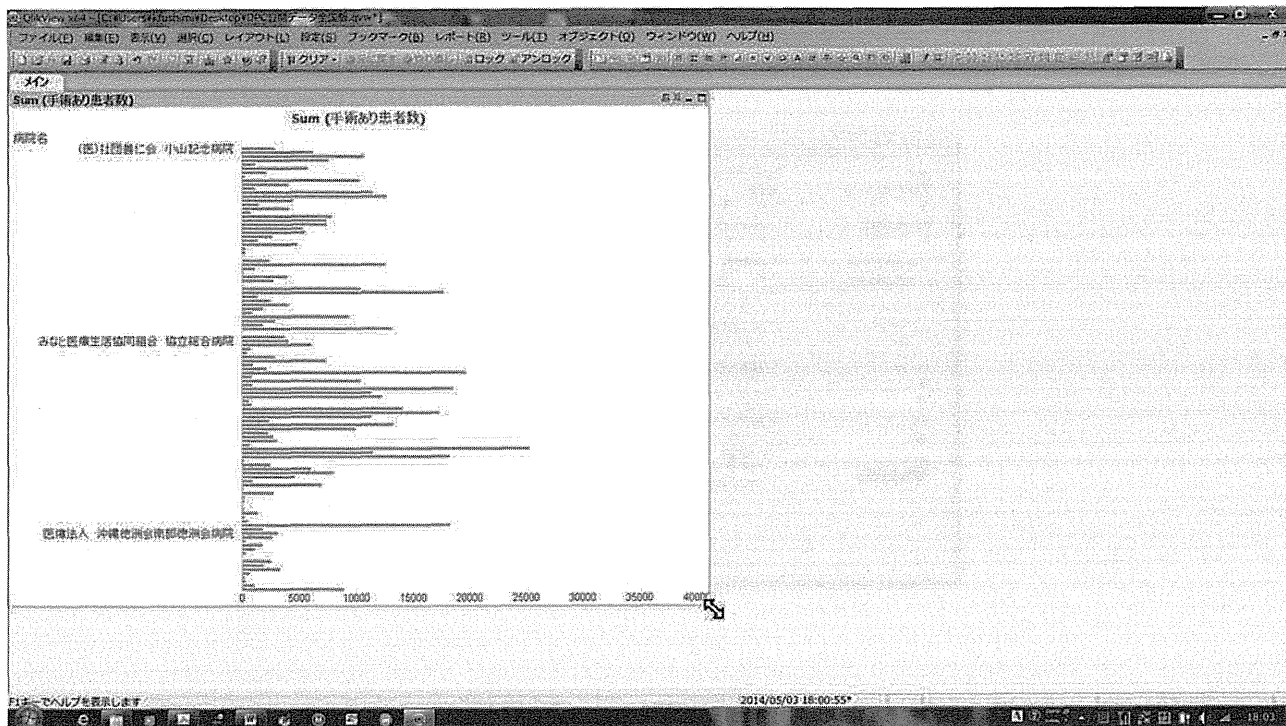


- 完了をクリックする。

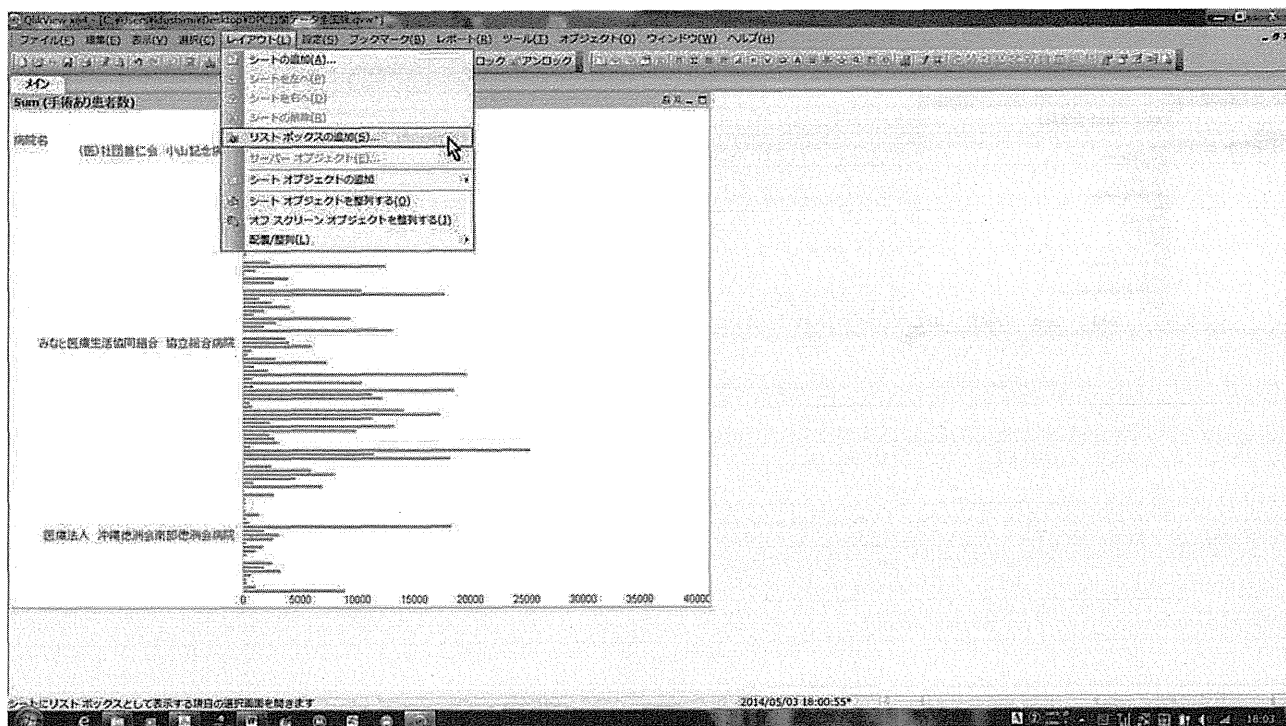


- チャートが出来たので、右下をクリックしてグラフのサイズを変更する。

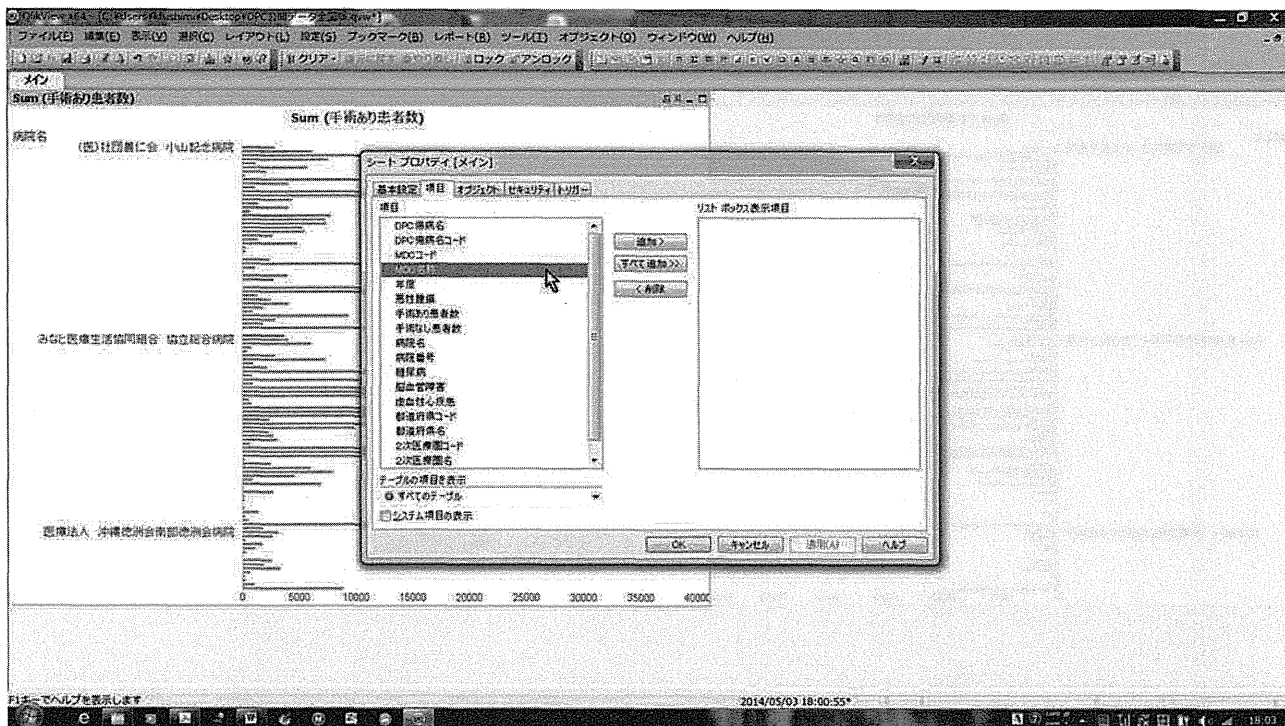




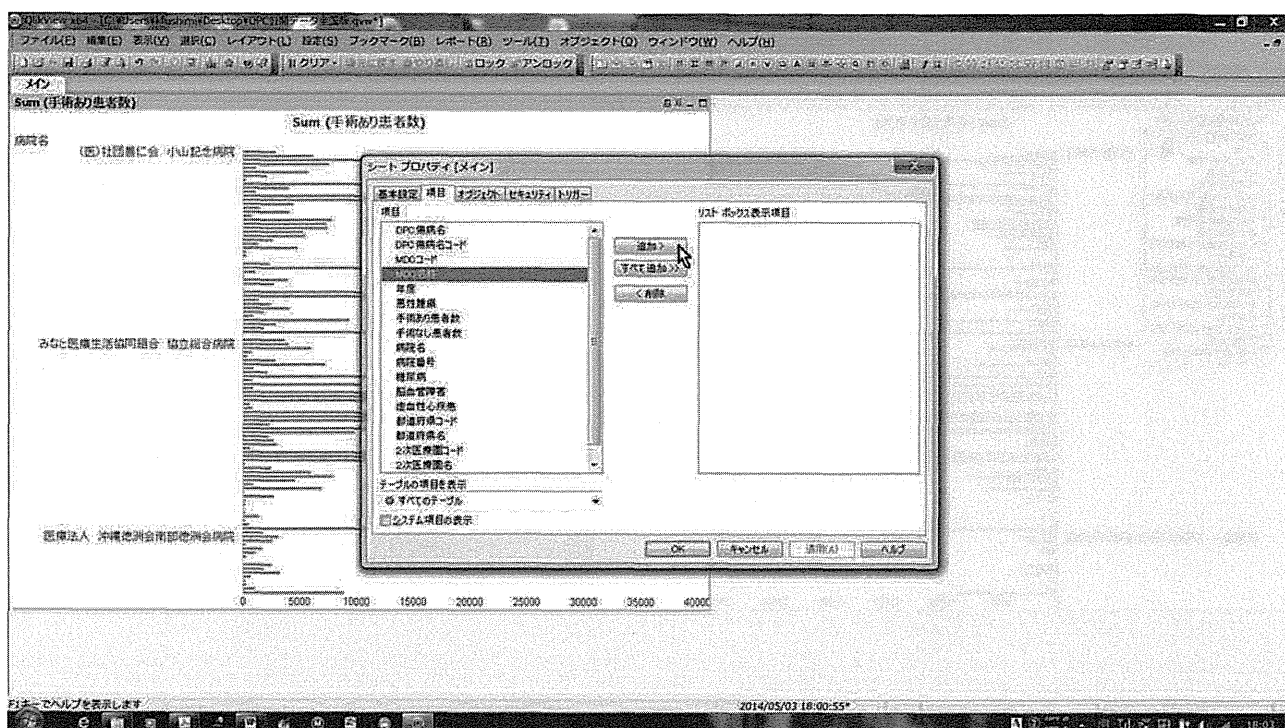
- 見やすい大きさに変更する。



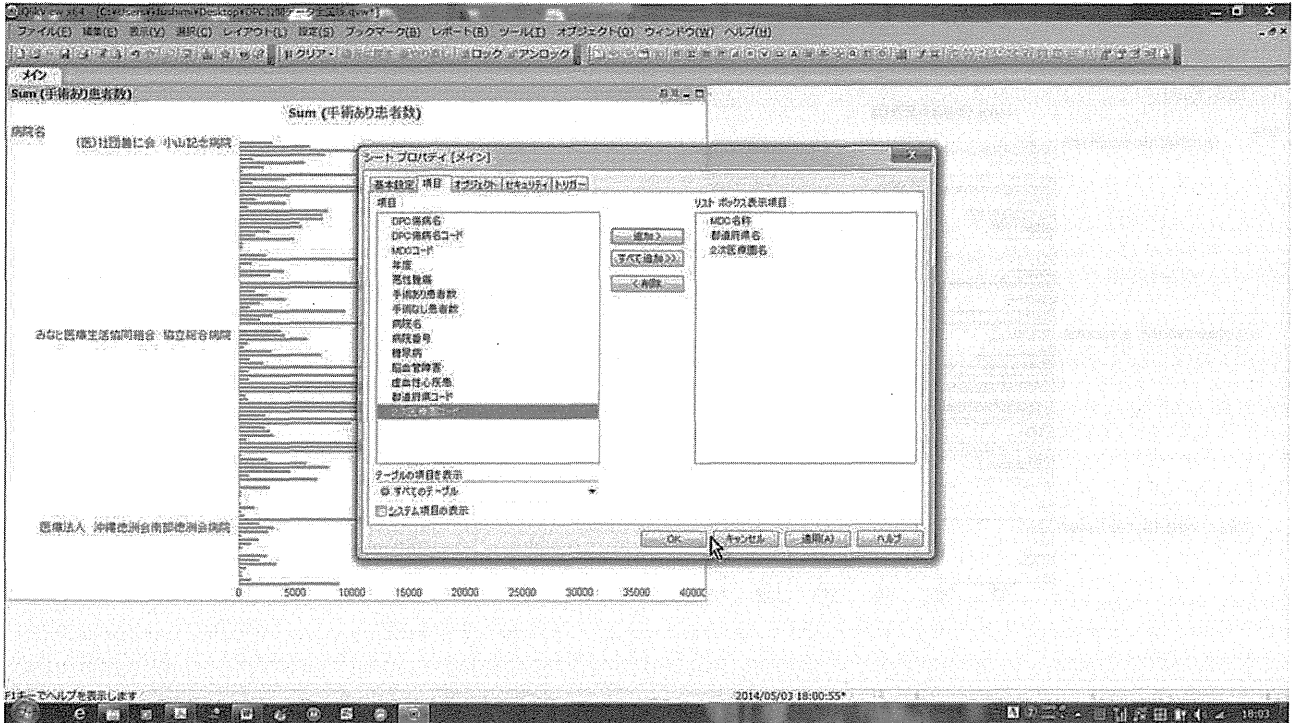
- レイアウトメニューからリストボックスの追加を選択する。



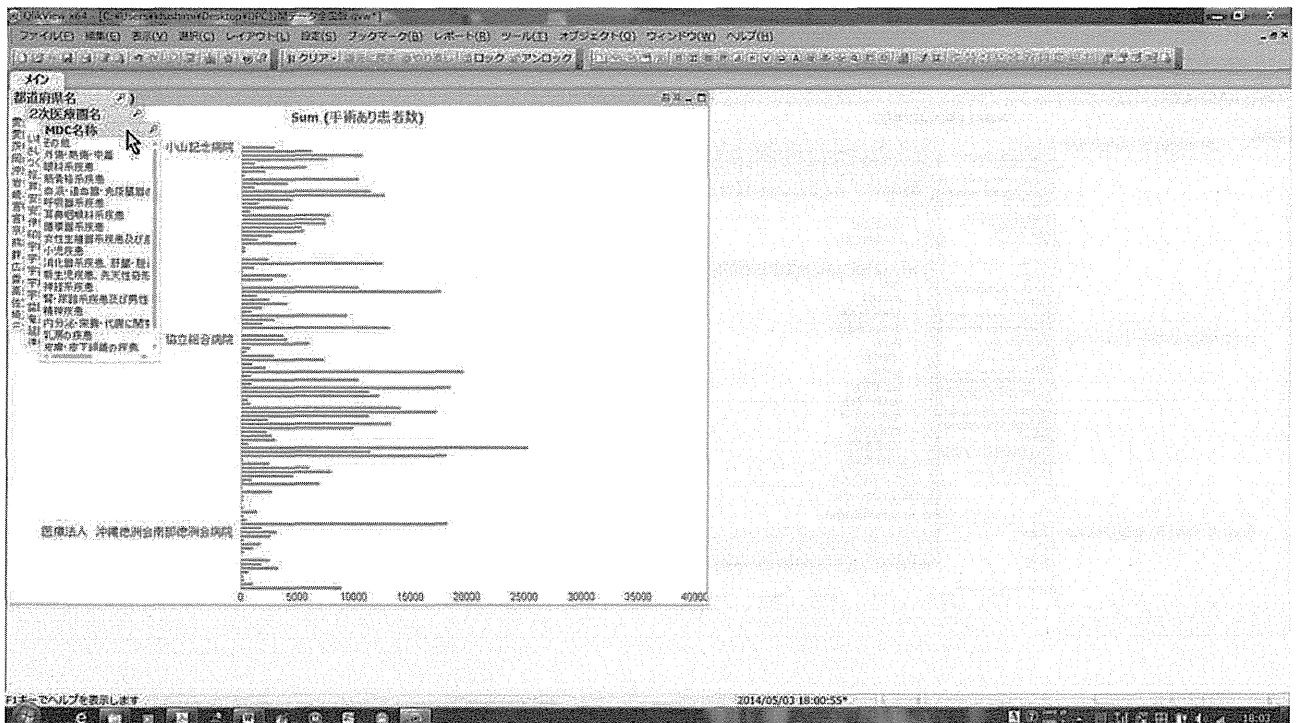
- MDC名称を選択する。



- 追加をクリックする。

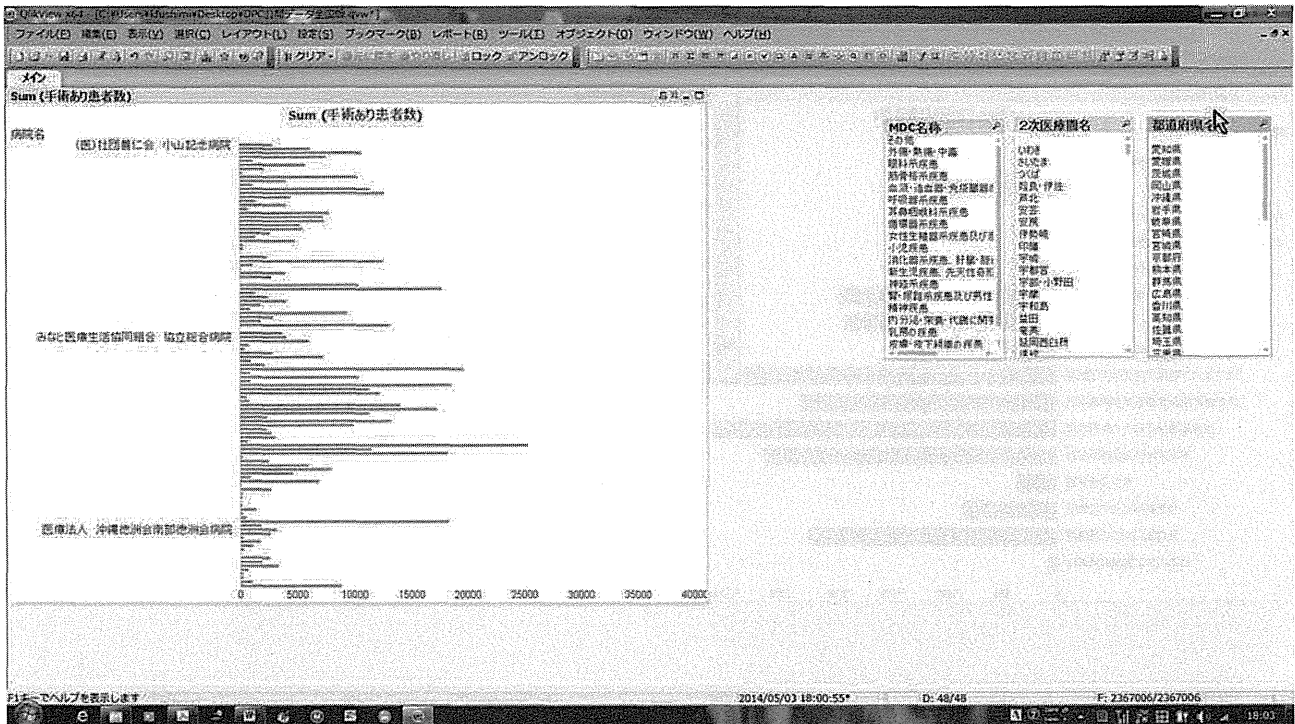


- 同様に都道府県名と二次医療圏名を追加する。

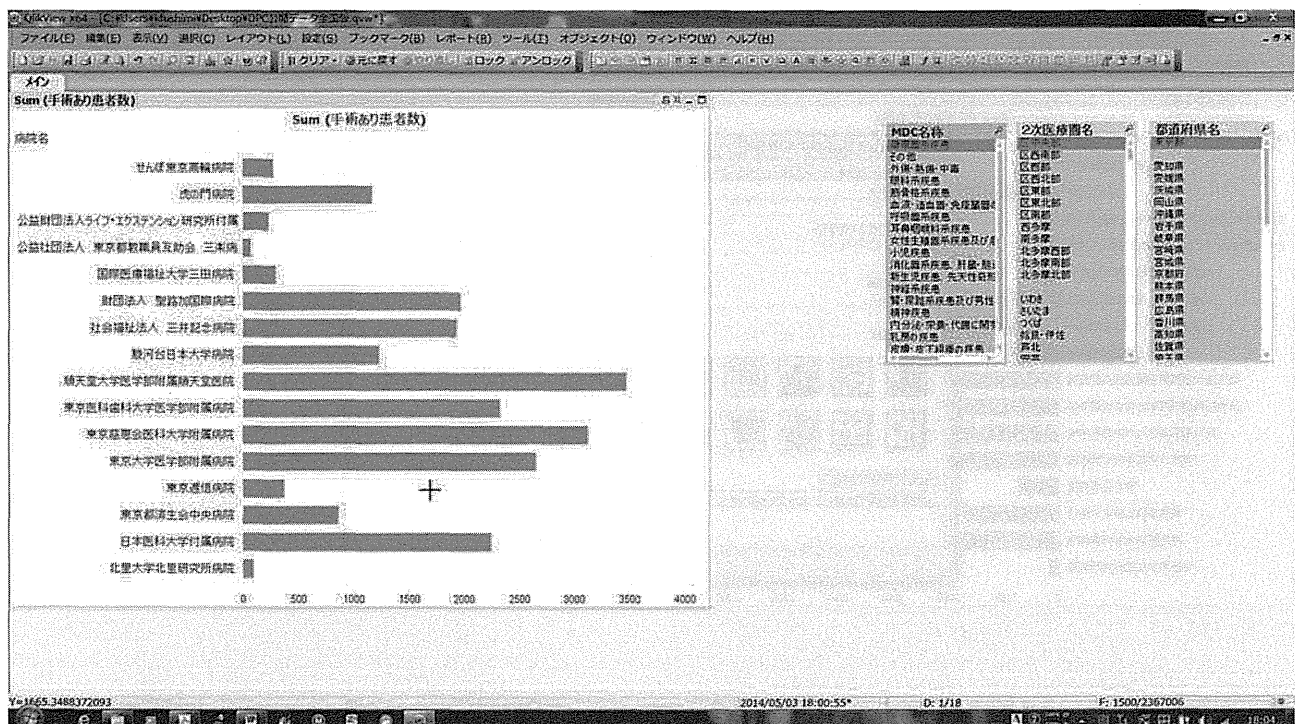


- 左上に選択ウィンドウが出来るので、使いやすい位置に移動する。

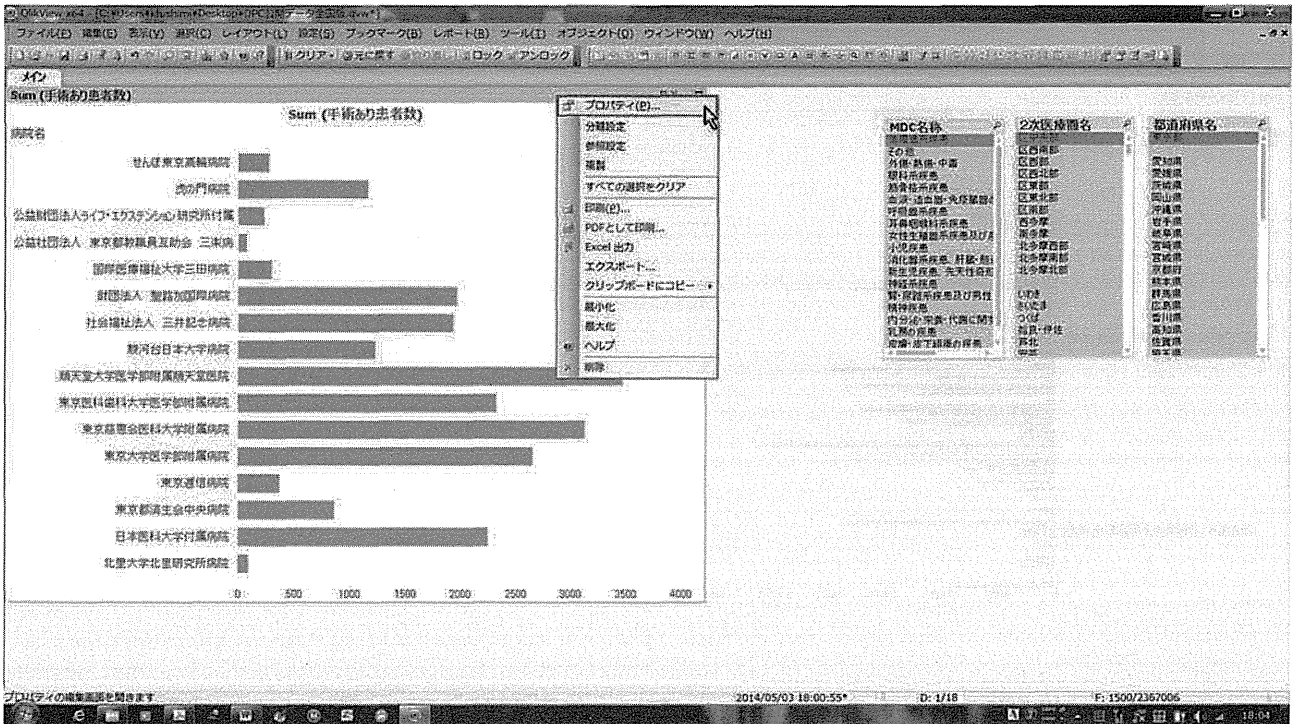




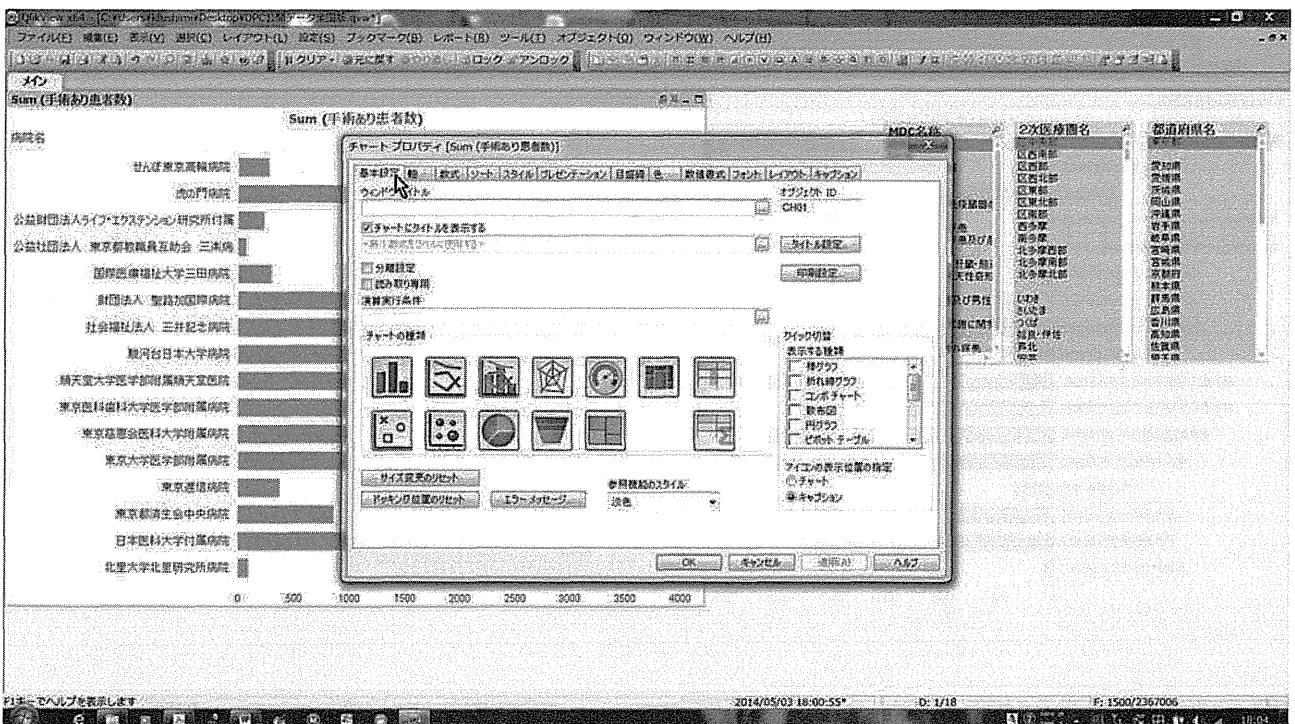
- 右側に並べると見やすい。



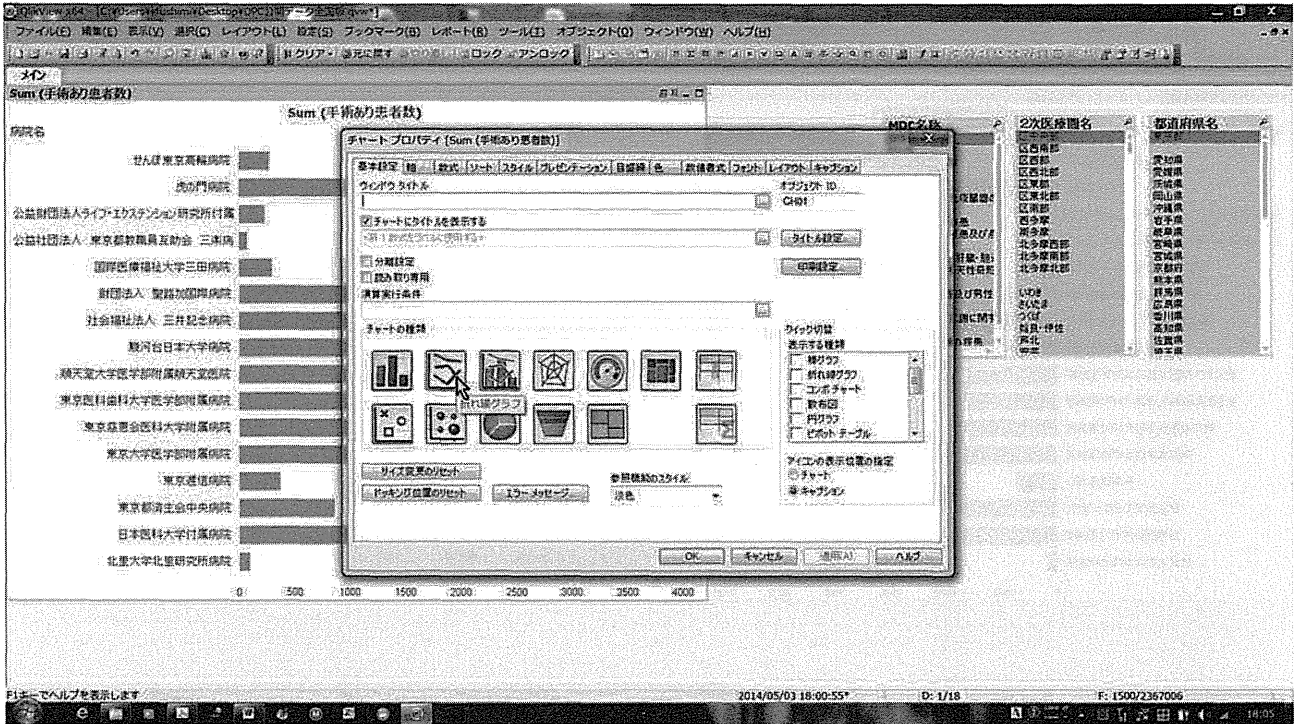
- 見たい都道府県、二次医療圏、MDC名称を選択する。
- 病院別患者数一覧が完成。



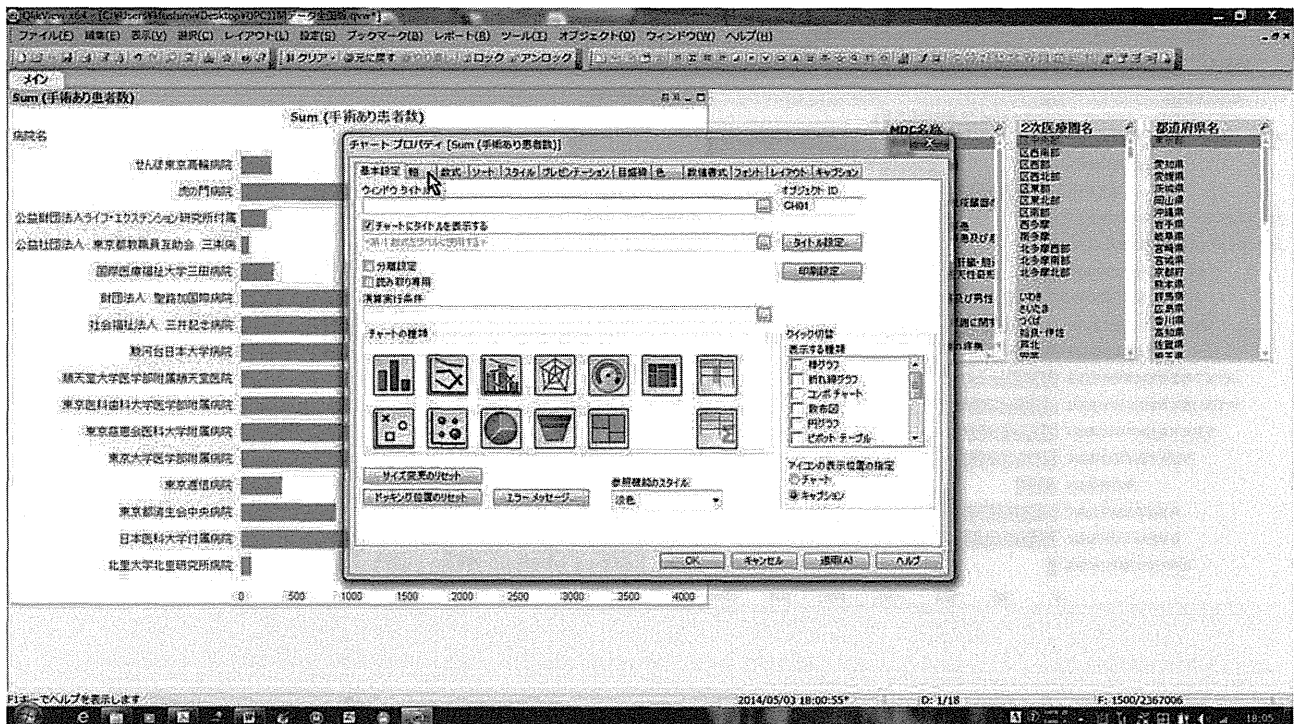
- 続いてグラフのデザインを変更してみる。
- グラフの上でマウスの右ボタンをクリックして、プロパティを選択する。



- 基本設定のタブを選ぶ



- 棒グラフを選択する。



- 軸のタブを選ぶ。